

①アスベスト含有吹付け材の除去工事

②施工計画

③安全衛生管理

④除去処理工事

⑤報告書は、（※5・部）作成し監督職員に提出する。
⑥測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。
表9.1.9測定点の取り方

測定時期	重要度	測定場所	測定点数 (各処理作業室ごと)	備考
処理作業前	△	処理作業室内	2又は3点	
	△	施工区画周辺又は敷地境界	2点	
処理作業中	△	処理作業室内	2点	
	◎	セキュリティゾーン入口	1点	空気の流れを確認
	◎	負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	1点	除じん装置の性能確認
	○	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	
処理作業後 (隔離シート撤去前)	◎	処理作業室内	2点	
	△	施工区画周辺又は敷地境界	4方向各1点	

(注)1.重要度の記号は、◎は必須、○は条件により必須、△は望ましいという意味である
2.施工区画とは、処理作業室、セキュリティゾーン、廃棄物置場、資材置き場を含む範囲で、セキュリティゾーン、負圧・除じん装置の排出口が施工区画周辺に設置されている場合の測定点は2点となる。
3.各施工箇所ごとの室面積が50m2以下までは2点、300m2以下までは3点とする。
300m2を超えるものは、監督職員と協議する。
4.処理作業中にセキュリティゾーン入口におけるアスベスト粉じん濃度測定の場合は、セキュリティゾーン内の空気の流れ(処理作業室内に空気が流れている)を、また負圧・除じん装置の排出口におけるアスベスト粉じん濃度測定の場合は、負圧・除じん装置の性能確認を行うこと。

(1)施工業者
施工業者は、工事に相応した技術を有することを証明する資料を、監督職員に提出する。
(2)作業管理者
石綿作業主任者の資格を有する作業管理者を選任し管理させる。
(3)特別管理産業廃棄物管理責任者
排出事業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有する者を選任し管理させる。
(イ)着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承認を受ける。
(ロ)施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。
①工事概要
ア.工事名称
イ.工事場所
ウ.工事期間
エ.工事内容(部位別の状況及び工法)
オ.その他
②管理組織(工事管理者、石綿作業主任者、特別管理産業廃棄物管理責任者等)
③安全衛生管理及び飛散防止対策
④使用用具、機器類、材料及び調合
⑤工事の流れ
⑥仮設計画(足場、養生)
⑦作業要領(作業計画図面を含む。)
⑧確認、検査方法及びトラブル時の対応方法
⑨アスベスト廃棄物処理計画
⑩添付書類
ア.工事工程表
イ.使用薬剤の説明
ロ.その他必要事項
(4)官公署その他への手続き等
一般建築工事の手続きのほか、次の手続きを行う。
①労働安全衛生法の工事計画書(所轄労働基準監督署)。
②石綿障害予防規則の作業届(所轄労働基準監督署)。
③特別管理産業廃棄物管理責任者設置報告書(都道府県知事または保健所設置市)。
④特性粉じん排出等作業実施届出書(都道府県知事または市長)。
⑤その他、地方公共団体が定めている届出書類。

(1)休憩室の設置
(イ)作業場以外の場所に設置する。
(ロ)十分湿らせたマット、衣服用のブラシ、真空掃除機等を備える。
(2)洗浄設備
(イ)洗顔、洗身、うがいの設備を設ける。
(ロ)更衣設備、衣服洗浄の設備を設ける。
(3)負圧防じん装置の設備
HEPAフィルタを備えた負圧防じん装置を設置する。
(4)表示、指示
(イ)特定化学物質等作業主任者名と職務内容、関係者以外立ち入り禁止、喫煙・飲食の禁止、アスベスト除去作業中等の表示を行う。
(ロ)アスベストの有害性、取扱い上の注意事項、使用すべき保護具の指示を行う。
(ハ)アスベスト使用の有無に関する事前調査年月日、当該調査の方法及び結果の概要の指示を行う。
(5)作業の隔離
(イ)除去に伴いアスベストを作業場から外部へ飛散させないため、プラスチックシート等を用いて隔離する。
(ロ)隔離した作業場への作業員の出入りによるアスベストの飛散を防止するため、セキュリティゾーンを設置する。
(6)保護具・保護衣
(イ)隔離された作業場において、石綿等の除去を行う作業者は、電動ファン付き呼吸用保護具又はこれと同等以上の性能を有する空気呼吸器、酸素呼吸器もしくは送気マスクを使用する。
(ロ)作業者は、アスベストが付着しにくく、付着したアスベストが容易に除去できる作業衣類または保護服を使用する。

工法
(a)除去工法は、特記による。特記がなければ以下による。
(1)アスベスト含有吹付け材を粉じん飛散抑制剤により十分湿潤化し、その後除去する。
(2)除去するにあたっては、飛散抑制剤等の効果を確認し、ケレン棒等によりアスベスト含有吹付け材を掻き落とす。
(3)付着しているアスベスト含有吹付け材が残った場合は、再度湿潤化し、ワイヤブラシ等を使用し取り除く。
(4)十分に除去が行われたことを確認した後に、除去面に粉じん飛散防止剤を散布する。
(b)除去物及び汚染物等
除去したアスベスト含有吹付け材等の処理は以下により、適用は特記による。特記がなければ密封処理とする。
(1)密封処理(二重袋梱包)
(イ)除去作業において、除去したアスベスト含有吹付け材は、適宜、プラスチック袋の中に入れ、粉じん飛散抑制剤等を散布することにより湿潤化して、密封する。
(ロ)前室で高性能真空掃除機により、プラスチック袋に付着している粉じんを除去する。
(ハ)前室又は洗浄室で、更にプラスチック袋をかぶせ、密封し、「廃石棉等」である旨の表示を行う。
(ニ)セメント固化
(イ)アスベスト含有吹付け材をセメントによって固化する場合は、アスベストが飛散しないように十分な強度が得られる配合とする。
(ロ)プラスチック袋で二重にかぶせ、密封し、「廃石棉等」である旨の表示を行う。

⑤汚染物処分工事

⑥検査及び後片付け

⑦施工記録

⑧アスベスト含有保温材等の除去工事

(2)除去物及び汚染物の処分等
(イ)除去したアスベスト含有吹付け材の処理方法は、以下による。
①密封処理の場合
ア.除去したアスベスト含有吹付け材は、適宜密封する。
イ.除去作業場において、除去したアスベスト含有吹付け材をプラスチック袋の中に入れ、粉じん飛散抑制剤等を散布することにより湿潤化して、密封する。
ウ.前室で高性能真空掃除機により、プラスチック袋に付着している粉じんを除去する。
エ.保護衣等着脱室で、更にプラスチック袋をかぶせ、密封し、「アスベスト含有吹付け材」である旨の表示を行う。
オ.除去したアスベスト含有吹付け材等の保管、運搬及び処分は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)の規定を遵守し行う。
なお、これを委託する場合は、都道府県知事(政令市長)の許可を受けている特別管理産業廃棄物処理業者(運搬業者)と特別管理廃棄物処理に関する契約を結び、廃棄物処理場の現地確認等を行うこと。
②除去したアスベスト含有吹付け材を固化処理する場合
ア.アスベスト含有吹付け材をセメントによって固化する場合は、アスベストが飛散しないように十分な強度が得られる配合とする。
イ.アスベスト含有吹付け材を溶融化する場合、アスベスト含有吹付け材の中間処理に適する溶融施設によって行う。
ウ.処理方法は、①オに準ずる。
(ロ)アスベスト廃棄物の搬出を行ったときには、適宜、搬出量と処理先を監督員に報告するとともに、産業廃棄物管理票(マニフェスト)の写しを添付した廃棄物処理報告を提出する。
(3)除去作業が終了後、高性能真空掃除機で床などの清掃を行う。
(4)監督職員の立会いのうえ、除去が十分に行われたかを、目視により検査を行う。
(5)養生用のプラスチックシートに付着した粉じんの再飛散を防止するために、シート全体にまんべんなく粉じん飛散抑制剤を散布する。
(6)壁面等の養生用のプラスチックシートの撤去は、負圧・除じんを十分に吸引、ろ過した時点又は粉じん飛散抑制剤吹付後、沈降した時点で行う。
なお、シートは、取り外して粉じん付着面を内側に折り返し、プラスチック袋に入れる。
(7)養生用のプラスチックシート等の廃棄物は、5(2)により処理等を行う。
(8)後片付け終了後は、高性能真空掃除機で床等の清掃を行う。
(1)施工記録報告書を作成し、監督員に提出する。
(2)施工記録報告書は、下記事項により作成する。
(イ)施工計画書
(ロ)工事記録及び工事写真
(ハ)産業廃棄物処理記録
(ニ)施工調査等記録
(ホ)作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
作業者の作業記録、特殊健康診断記録は石綿則により40年間保存しなければならない。
(ヘ)その他必要事項

(1)施工調査等
(イ)施工調査は、特記による。特記がなければ、次による。
(ロ)処理工事に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。
調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。
①アスベスト含有保温材等の使用部位の確認
②アスベスト含有保温材等の厚さの確認
③施工範囲と工事管理区分の確認
④廃棄物などの搬出方法
(ロ)アスベスト粉じん濃度測定は6.1(ロ)に準じて行う。
(1)施工計画書
着工に先立ち、処理工事に伴うアスベスト粉じんの飛散防止対策を盛り込んだ施工計画書を施工調査等の結果に基づき作成し、監督職員の承認を受ける。
なお、施工計画書に記載すべき事項は、次のとおりとする。
①工事概要
ア.工事名称
イ.工事場所
ウ.工事期間
エ.工事内容
オ.その他
②管理組織
③安全衛生管理及び飛散防止対策
④使用用具、器具類、材料及び調合
⑤工事の流れ
⑥仮設計画(足場、養生)
⑦作業要領(作業計画図面を含む。)
⑧確認、検査方法
⑨工事工程表
⑩その他必要事項
(2)官公署その他への手続き等
一般建築工事の手続きのほか、地方公共団体が定めている手続きを行う。
(1)建物内部で除去作業を行う場合は、作業場所を他の場所を隔離する。
なお、作業場所において、開閉部位(出入口、換気口、窓等)は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部分を、プラスチックシート等で塞ぐものとする。
(2)建物外周部で除去作業を行う場合は、当該部分をプラスチックシート等で囲い、該部分をプラスチックシート等で囲い、周辺環境へのアスベスト飛散を防止する。
(3)作業場所内では、除去に関する作業以外の作業は厳禁とする。
(4)表示、指示については「改修標仕」9.1.2(f)に基づいて行う。
(5)アスベスト保温材等の切断、穿孔、研磨等の作業が伴うものは「改修共仕」9.1.3(a)
に基づき隔離を行う。なお、グローブバック方式を使用して該除去部分を置る場合も隔離と見なす。
アスベスト含有保温材等(煙突用断熱材は除く)の除去は可能な限り粉じん飛散抑制剤で十分に湿潤化した後、手ばらして行うこと。
手ばらし以外の除去(グローブバック方式による除去は除く)の場合は、「改修共仕」9.1.3および「改修指針」9.1.3による。
(イ)除去したアスベスト含有保温材の処理方法は、「改修共仕」9.1.3(b)(2)および「改修指針」9.1.3(b)(2)により、密封処理する。
(ロ)施工区画内において、アスベスト含有保温材等の廃材を高所から移動する場合は、掃集機を使用して、アスベスト含有保温材等を高所より落下させないこと。
なお、アスベスト含有保温材等の保管、運搬、処分等については、「改修共仕」9.1.3(c)及び「改修指針」9.1.3(c)による。
7.6に準じて行う。

⑥検査及び後片付け

①危険防止

2.構台

③工事表示板等

④設備工事との取合い

1)仮囲い等
・設けない ※設ける
設置方法
・成形鋼板(H= m) ・波形カラー鉄板(H= m)
・シート張り ・ロープ張り
※施設管理者と協議の上、バリアーによる安全区画を行うものとする。
ゲート
・シート(W= m) ・パネル(W= m)
・ハンガー(W= m)
垂直防護施設
・メッシュシート ・防炎シート ・特許金網
・防音シート ・アルミ防音パネル ()
水平防護施設
・防護柵(朝顔) ・ダブルネット ・ ()
防護施設等取付足場
・単管一本足場 ・枠組本足場(W=) ・ ()
設置範囲 ※図示による 監督員の指示による
設置期間 ※工事期間中 監督員の指示による
手すり先行足場について
枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成15年4月)により、設置については同ガイドラインに基づく働きやすい安心感のある足場とし、二段手すりと保本の機能を有する部材があらかじめ備えられた手すり先行専用足場型とするか、または改修措置用材を用いて手すり先行専用足場型と同等の機能を確保するものとする。
養生構台
・設置する(図示による) ・設置しない
乗入れ構台
・設置する(幅員 m、長さ m) ・設置しない
監督員の指示による。
※施工区分表による
※施工範囲は下記による
※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強
※図示した壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強
※駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ
※自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強
・ ()
施工図 設備機器の設置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承認を受ける。

⑤総合図での調整

①軽量鉄骨天井下地

②せつこうボード
その他ボード
及び合板張り

3.吸音材

4.ロッカ-吹付け

5.木質繊維吹付け

6.塗装材料

7.塗装業者

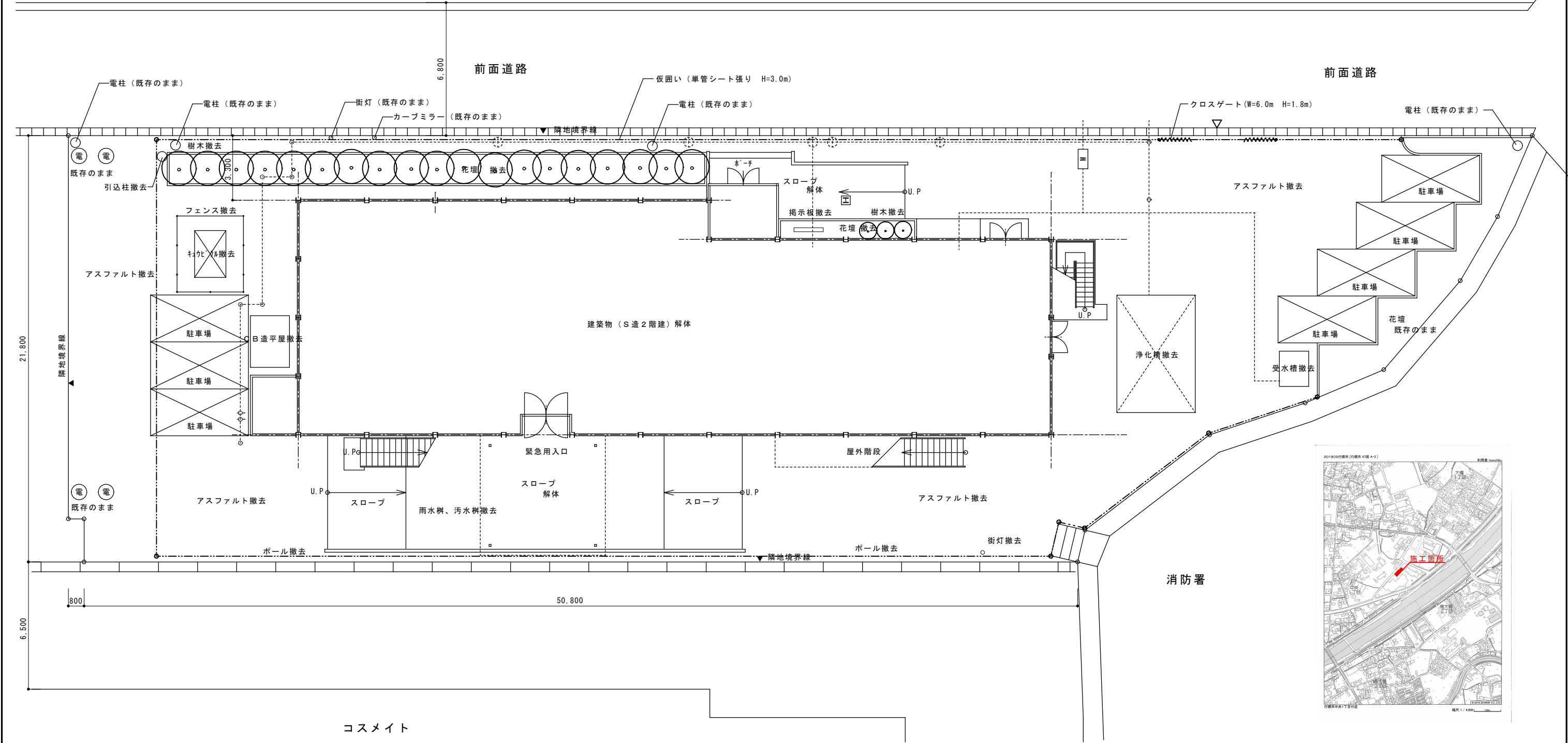
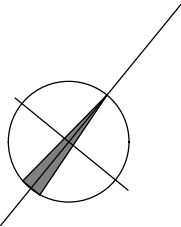
各工事の着工に先立ち、各施工図の基準となる総合図を作成し、監督員の承認を乗ける。
総合図は施工図作成に先立ち、建築・設備・その他別添付性工事業者の情報をすべて盛り込んだ図面とし、それらの採点の細部調整を行う。
総合図の調整は、建築工事の請負者が行い、設備工事、その他の請負者がそれに協力する。
野縁等の種類 標仕(14.4.2)(表14.4.1)
屋内 ※19形 ・25形 ・ ()
屋外 ・19形 ※25形 ・ ()
屋外における野縁等の間隔 () 標仕(14.4.3)
材 種 種 別 張 り 方 厚 さ 備 考
・せつこうボード
・下地張り
・突付け
・目通し
・9.5
・12.5
・無目処理工法
・15
・寸法
※600×910・910×910
・化粧せつこうボード
・トラバーチン模様
・直張り ※突付け
※9.5
・寸法
※600×910・910×910
・無石綿けい酸カルシウム板
・目通し
・目通し
※6
・8
タイプⅡ(無石綿)
・10
・12
・ ()
・木質セメント板
・硬質木毛セメント板
・打込み
・20 ※25
・普通木毛セメント板
・張付け
・30
・敷込み
・繊維板
・フラット
・下地張り
・突付け
・9.5
・12.5
・凹凸
・しな合板
・下地張り
・突付け
・9.5
・ラワン合板
・上張り
・目通し
・12.5
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
遮音シール材 ※アクリル系シーリング材 ・ジョイントコンパウンド
材 種 品 質 ・ 規 格 厚 さ
・ロックウール吸音材 ロックウール吸音ボード1号(60K) ・25 ・ ()
・グラスウール吸音材 グラスウール吸音ボード2号32K
ガラスクロス(JIS S-3414-P-17A) 繊維張 ※25
ガラスクロス張りグラスウール吸音ボード(910×1820)の取付け工法
ボロボロビレン及びプラスチックファスター留め 4本/m程度以上
(15.8.2)
種類 色 採 厚 さ
・一般用 ・ () ・着色 ・原色
・10 ・15 ・20 ・ ()
※ホルムアルデヒドの放散量 F☆☆☆☆等級のもの、()
種類 色 採 厚 さ
・一般用 ・ () ・着色 ・原色
・10 ・15 ・20 ・ ()
※ホルムアルデヒドの放散量 F☆☆☆☆等級のもの、()
屋内の壁及び天井の塗装仕上材は、建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。
(18.1.3)
塗料は、トルエン等の含有量が少ない規格品とする。
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ()
・(一社)日本建築工業会の会員 ※監督員の承諾する塗装業者

アスベスト除去写真
撮影要領
1 除去着工前の清掃
2 ビニール養生(床二重が分る撮影・壁養生・機器養生等)
3 クリーンルームの撮影(設置状況、完了時)
4 負圧除塵装置撮影(フィルター確認状況を含む)
5 各種掲示板等の撮影
6 飛散抑制・防止利便器施工時の写真
7 負圧除塵装置撮影(フィルター確認状況を含む)
8 袋詰め撮影
9 アスベスト除去後の確認時の撮影
10 飛散防止剤の吹付け時の撮影
11 産業廃棄物の処理状況の撮影
(保管状況、数量確認、積み込み、搬出、運搬、処理場搬入、荷下ろし、数量確認、退場の各状況)
12 各指定段階の濃度測定時の撮影
13 使用材料、配合状況及び使用機器の状況
14 その他、監督員が指示する箇所

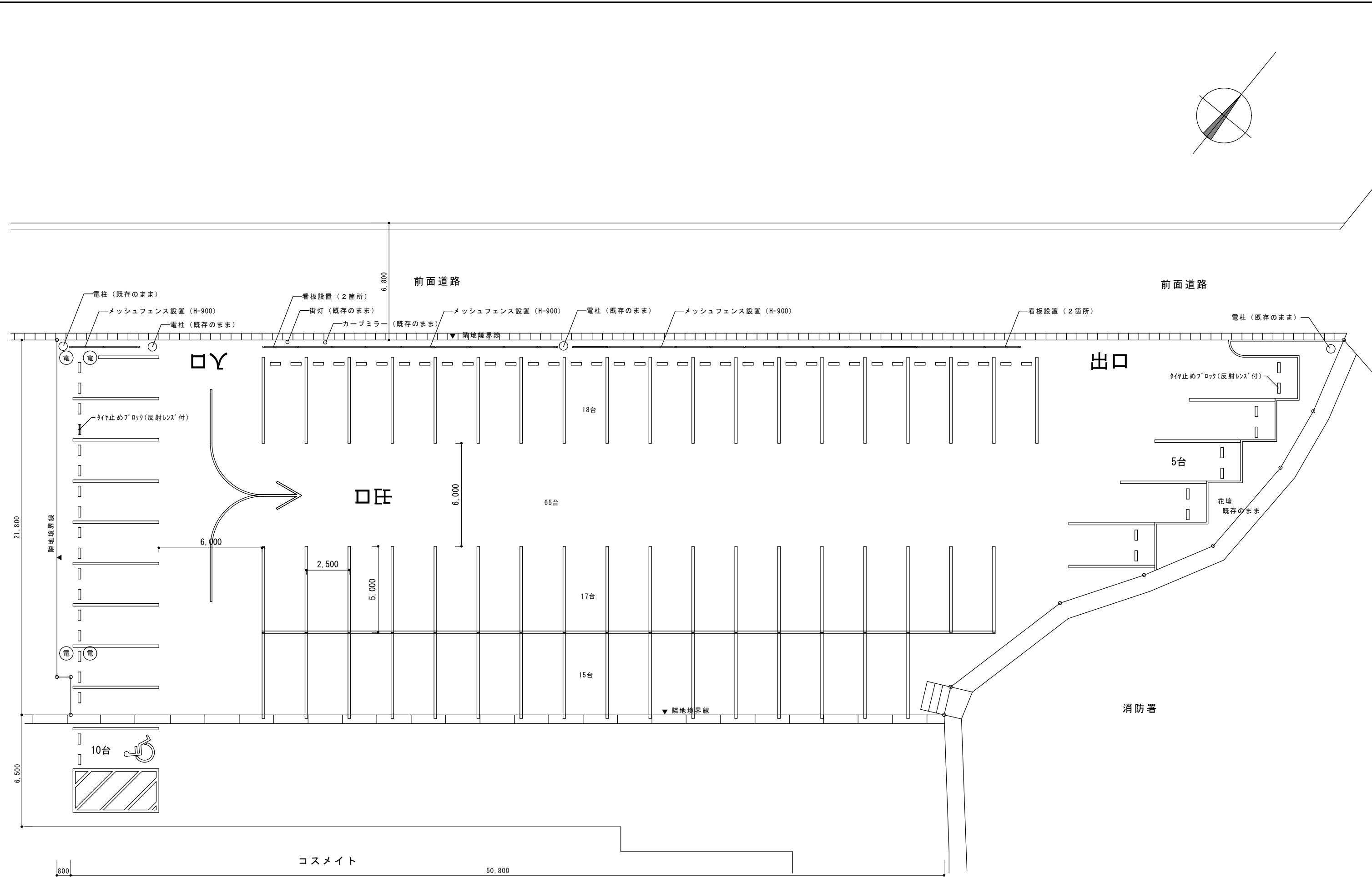
施 行 区 分 表 (○印を塗りつぶしたものを適用する)
工事内容 建築 躯体 電気 衛生 空調 ガス 別途 備考
電気引き込み撤去工事
通風
水道
ガス
下水接続撤去工事
空調フロ回収処理
浄化槽、便槽の撤去処分
備品類の撤去処分
P.C.B使用状態の確認、搬去、引渡
行橋市役所 都市整備部 建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL:0930-25-1111 承認印
工事名称 旧急患センター解体工事 図面名称 解体工事等特記仕様書(2)
尺度 ー 図面番号 A-02
日付 令和3年6月

外部仕上表															
屋根		カラー亜鉛鉄板瓦葺葺き 30# 木毛板 厚25mm						ポーチ		床：108角磁器質、ニ丁掛タイル貼 天井：鋼板スバンドレル 下地軽量鉄骨下地					
庇		ー						スロープ		床：108角磁器質、ニ丁掛タイル貼					
外壁		ALC板 アクリルリシン吹付													
根廻り		モルタル金コテ													
犬走り		モルタル金コテ													
樋		塩化ビニルパイプ φ75 VU													
内部仕上表															
階	室 名	床仕上	仕 上	巾 木	仕 上	腰 壁	仕 上	壁	仕 上	天 井	仕 上	備 考			
1	風除室	108角磁器質ニ丁掛タイル貼り						タイル		LGS下地 鋼板スバンドレル		スチールラック			
	文化課	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100		木下地 ラウン合板t=5.5	OP	LGS下地 GB-R t=12.5	クロス貼	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		スチールラック、造り付け流し台カウンター、ブラインド、備品			
	会議室	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-R t=9.5	EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		スチールラック、造り付け流し台カウンター、ブラインド			
	るーぶる事務所	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-R t=9.5	EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		カーテン			
	倉庫 1	ビニル床シート t=2.5		放射線用防護材 H=75				放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	LGS下地 放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	スチールラック			
	倉庫 2	ビニル床シート t=2.5		放射線用防護材 H=75				放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	LGS下地 放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	スチールラック			
	倉庫 3	ビニル床シート t=2.5		放射線用防護材 H=75				放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	LGS下地 放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	スチールラック			
	倉庫(階段下)	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	EP						
	会議室 1	木下地 ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F)		電子レンジ、ブラインド			
	会議室 2	木下地 ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F)		スチールラック、ブラインド			
	ピエンナーレ事務局	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F) 、一部木下地 DR t=9.0		ブラインド			
	看護師控室	畳 1部ブナフローリング張 t=15.5		畳寄				木下地 難燃合板t=4.0	クロス貼	木下地 石綿成型板t=12.0		ブラインド			
	脱衣室	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				木下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F)		天井裏：吹付材(アスベスト含有)有			
	リネン室兼倉庫	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				木下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F)		天井裏：吹付材(アスベスト含有)有、煙突内断熱材(アスベスト含有)有			
	給湯室 1	磁器質モザイクタイル貼		モルタル金コテ H=75	VP	半磁器質100角タイル貼	有色	モルタル金コテ	EP	木下地 石綿板t=4.0 (73x^ t含有)	EP	造り付け戸棚、流し台、手洗い×2			
	便所	磁器質モザイクタイル貼				半磁器質100角タイル貼	有色	モルタル金コテ	EP	木下地 GB-Rt=9.0 (73x^ t含有)	EP				
	給湯室 2	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		流し台、冷蔵庫×2、ブラインド			
	多目的便所	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				ALC板 吹付タイル		LGS下地 DR(F) t=9.5					
	廊下 1	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				木下地 石綿板t=6.0 (73x^ t含有)	多彩色塗	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		備品			
	廊下 2	ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼、EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		机×2、長机、その他備品			
2	ほほえみ教室事務所	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP	木下地 難燃合板t=4.0	OP	木下地 難燃合板t=4.0 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)		ブラインド			
	ブレイルーム	クッションフロア		木製巾木 H=100	OP	木下地 木調化粧合板		木下地 難燃合板t=4.0 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)		スチールラック、ブラインド			
	教育相談室	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 難燃合板t=4.0 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	LGS下地 GB-Rt=12.5+DR(F)		ブラインド			
	第二相談室、前室	畳 1部ブナフローリング張 t=15.5		畳寄				木下地 GB-Rt=9.0 (73x^ t含有) +ジュラクサテン吹付 (73x^ t含有)		木下地 杉径合板敷目板張		押入、下足箱、障子			
	給湯室	磁器質モザイクタイル貼		モルタル金コテ H=75	VP	半磁器質100角タイル貼	有色	モルタル金コテ	EP	木下地 石綿板t=4.0 (73x^ t含有)	EP	造り付け戸棚、流し台、手洗い×2			
	便所	磁器質モザイクタイル貼				半磁器質100角タイル貼	有色	モルタル金コテ	EP	木下地 GB-Rt=9.0 (73x^ t含有)	EP				
	会議室（大）	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼 EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		テレビ台×2、ブラインド			
	ホール 2	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼 EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		流し台、可動ボード			
	文化課	鋼製床組+合板t=12.0（二重張り）+ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼	LGS下地 DR(F) t=9.5		造り付け棚×4、長机、ブラインド			
	更衣室	鋼製床組+合板t=12.0（二重張り）+ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼	LGS下地 DR(F) t=9.5					
	倉庫 1	鋼製床組+合板t=12.0（二重張り）+ビニル床シート t=2.5		ソフト巾木 H=100				LGS下地 GB-Rt=12.5	クロス貼	LGS下地 DR(F) t=9.5		冷蔵庫、ブラインド			
	倉庫 2	鋼製床組+合板t=12.0+鉛合板t=7.0+放射線散乱防護ビニル床シートt=2.0		放射線用防護材 H=75				放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼	LGS下地 放射線透過防護材（レイプロット鉛ボードt=14.0）	クロス貼				
	会議室 1	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100		木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		テレビ、ブラインド			
	会議室 2	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP	木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		ブラインド			
	会議室 3	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP	木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)		テレビ、パソコン、付属品、ブラインド、その他備品			
	倉庫 3	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 ラウン合板t=5.5 LGS下地 GB-Rt=12.5	OP EP	LGS下地 GB-Rt=9.5+DR(F)					
	廊下	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 石綿板t=6.0 (73x^ t含有)	EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)		スチールラック、加湿器			
	前室	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)					
	階段室	ビニル床シート t=2.5						LGS下地 GB-Rt=12.5	EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)					
	ホール 1	ビニル床シート t=2.5		木製巾木 H=100	OP			木下地 石綿板t=6.0 (73x^ t含有)	EP	木下地 DR(F) t=9.0 (73x^ t含有)		燃えるゴミ（本等）			
特 記						作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111 *****				工 事 名 称 ・ 図 面 名 称		縮 尺	図 面 番 号
-----												旧急患センター解体工事		A3版：1/200	A03
-----												仕上表			

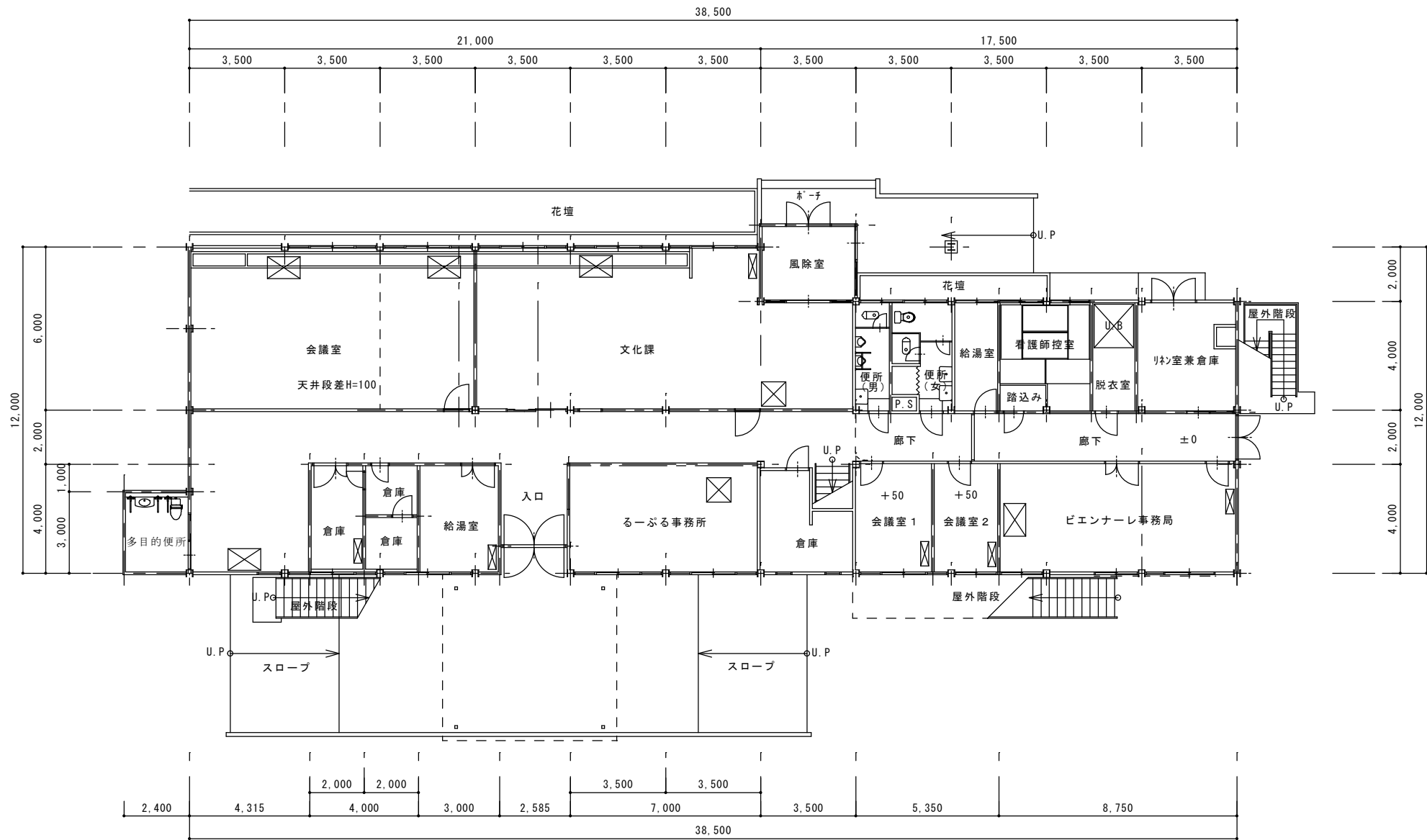
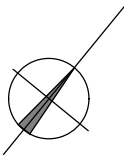
凡例		特記事項
仮囲い 成形鋼板 H=2.0	○-----○	※仮設物、仮囲い等の設置場所及び誘導員の配置については監督員と協議の上、決定すること。
シートゲート:W=3.6 H=4.5	~~~~~	※工事に使用する電力、水道等は施工会社で調達すること。
工事用出入口	▽	※工事関係者、及び工事関係車両は、指定ゲートを常用出入口とすること。
		※周辺環境に配慮し、騒音・振動・塵埃に留意して施工を行うこと。
		※現場の進入口は鍵付きとし、工事関係者以外の進入禁止措置を行うこと。
		※隣接施設（コスイト行橋）は通常運営しているため、施設関係者及び施設利用者の通行に配慮すること。
		※九電、NTT等関係各社と協議の上解体工事を行うこと。
		※市上水道課と協議の上水道切離工事を含む。メーターは上水道課に返却すること。
		※浄化槽解体前に抜き取り及び消毒を行うこと。
		※建物内部残置物及び地中埋設物、樹木等すべて撤去・処分すること。



特記	作図	作図	工事名称・図面名称	縮尺	図面番号
地中埋設物をすべて撤去すること コスイト裏に搬入する通路を確保すること			旧急患センター解体工事 配置図（改修前）	A3版：1/200	A04

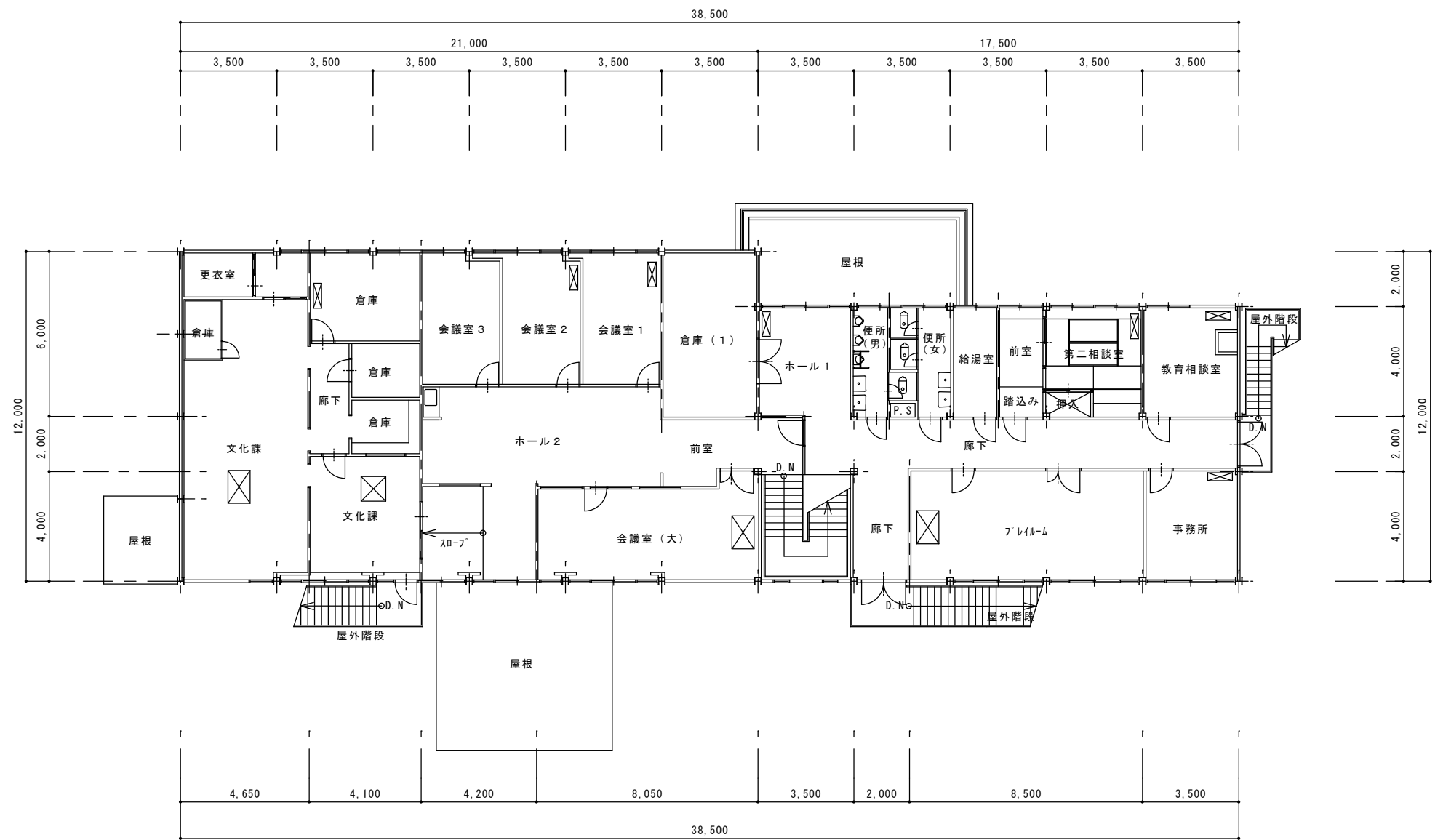
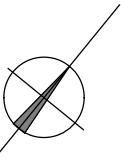


特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
看板の内容については、監督員・管理者と協議の上、決定すること。 白線は、多目的駐車場、入口、出口、矢印、文字等も含む。			旧急患センター解体工事	A3版：1/200	A05
			配置図（改修後）		



1 階平面図 (441.40㎡)

特 記	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL:0930-25-1111 *****	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
電気設備、機械設備の撤去をすること。				旧急患センター解体工事	A3版: 1/200	A06
				1 階平面図		

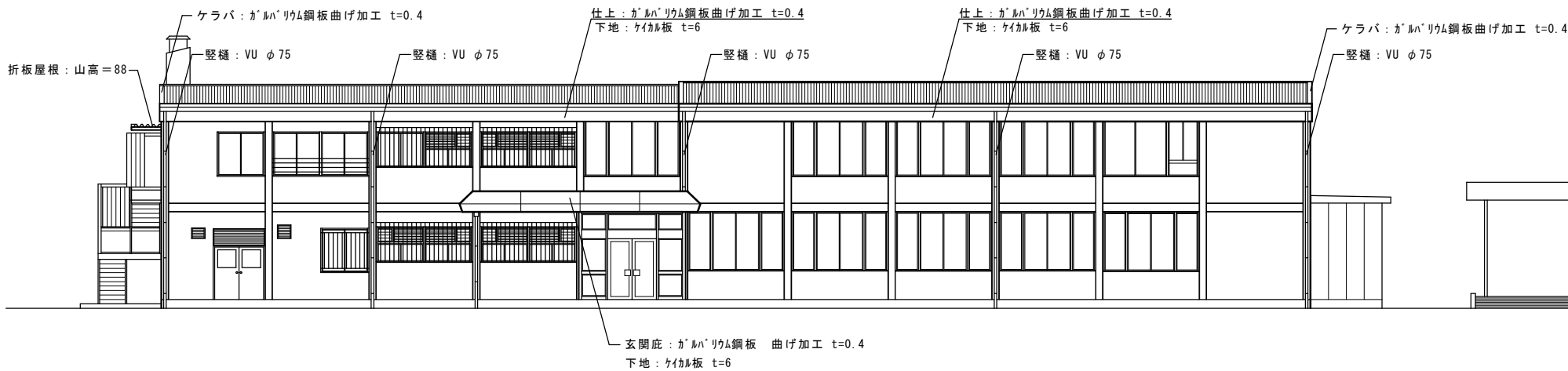


2 階平面図 (427.00㎡)

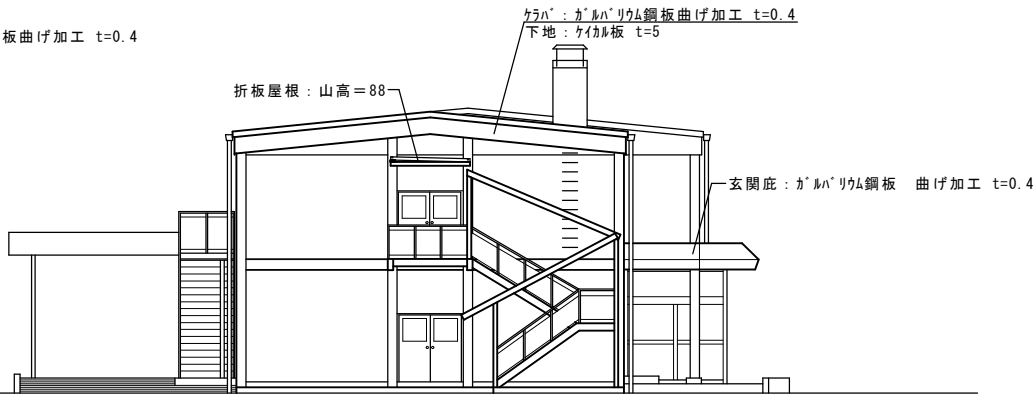
特 記	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111 *****	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
電気設備、機械設備の撤去をすること。				旧急患センター解体工事	A3版：1/200	A07
				2階平面図		

電気設備、機械設備の撤去をすること。

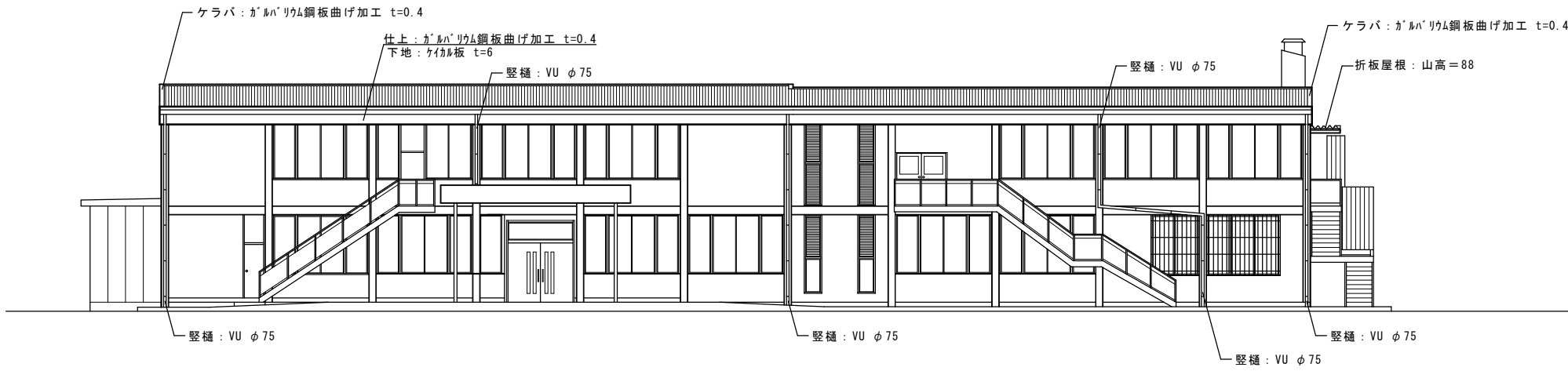
行橋市役所 都市整備部 建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL：0930-25-1111



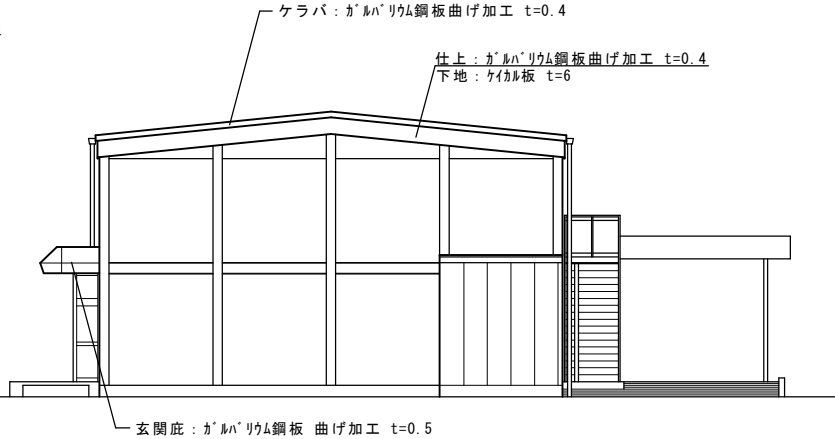
西側立面図



北側立面図



東側立面図

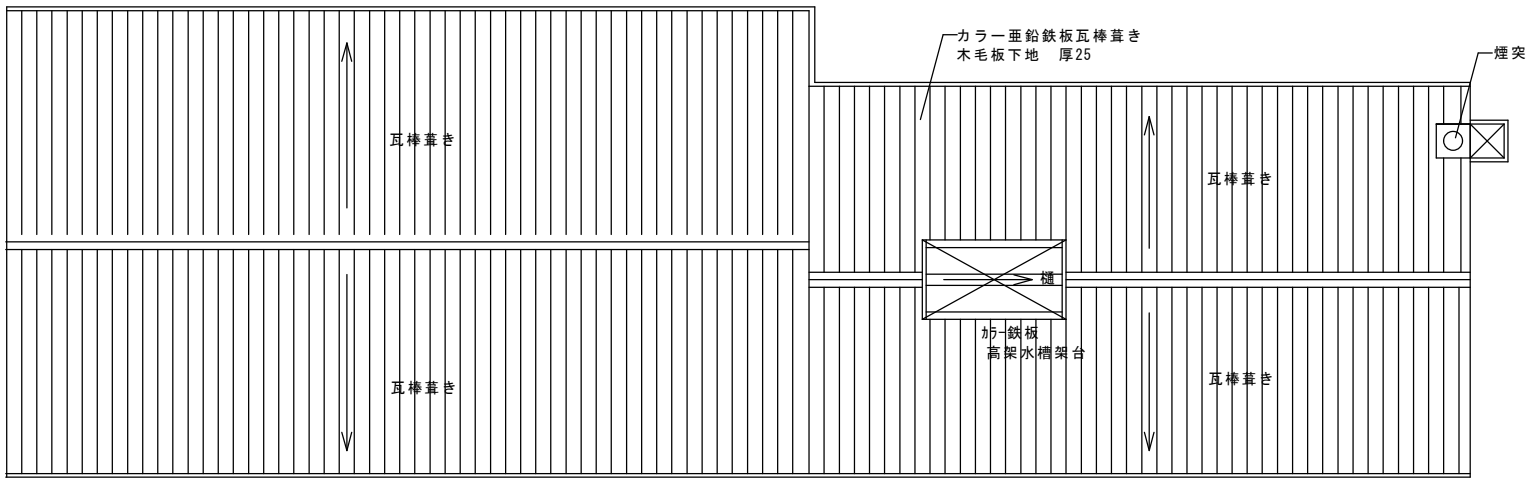
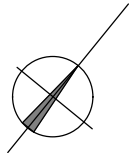


南側立面図

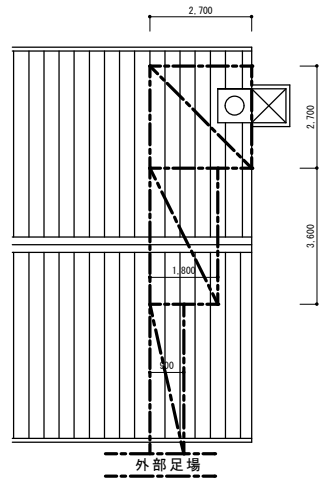
特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
			旧急患センター解体工事	A3版：1/200	A08
			立面図		



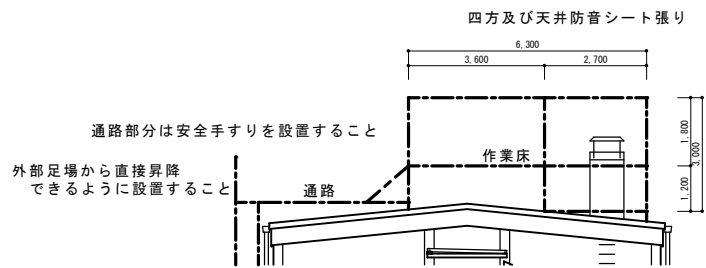
玄関屋根伏図



屋根伏図



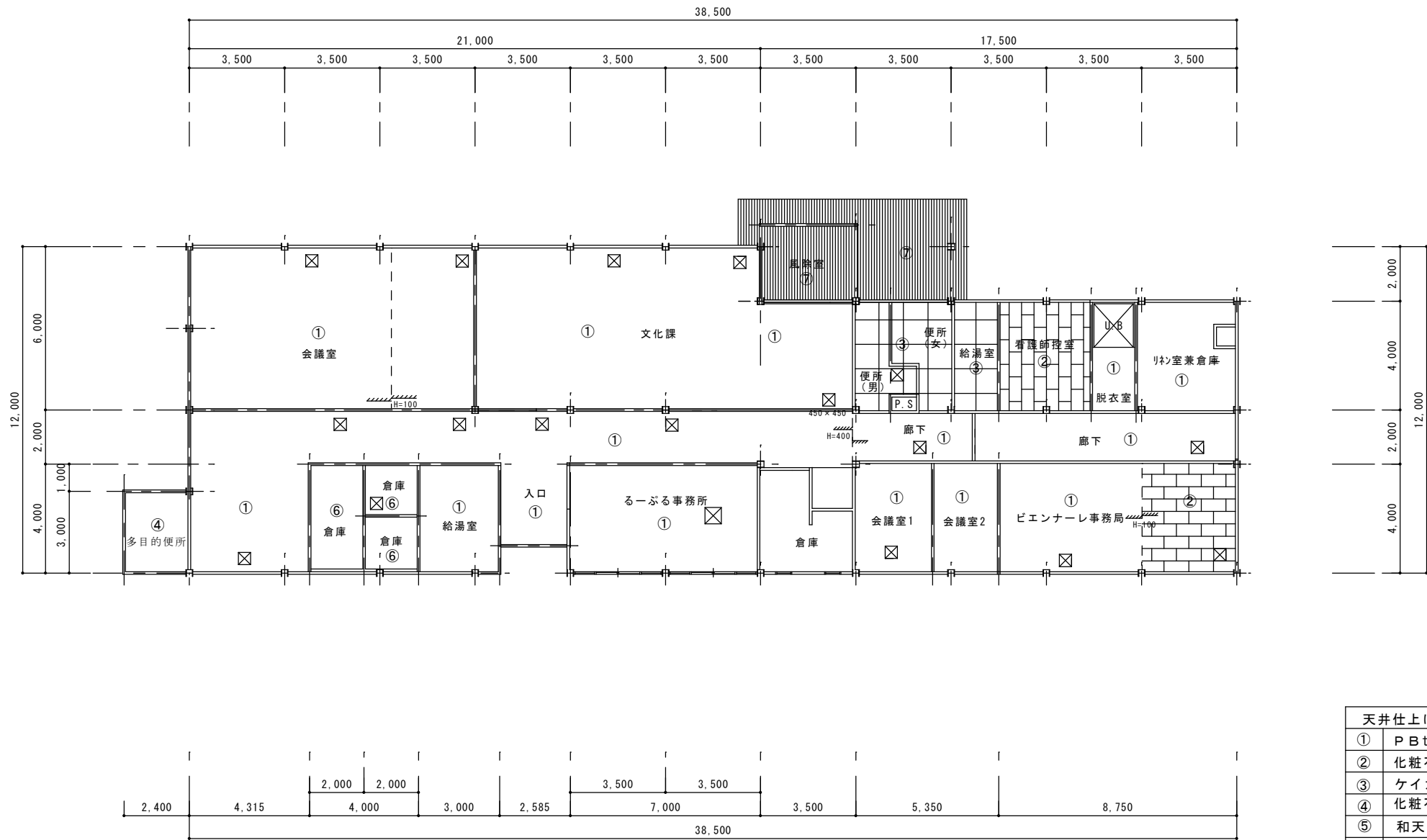
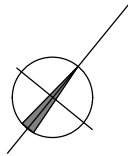
アスベスト除去用足場平面図



アスベスト除去用足場立面図

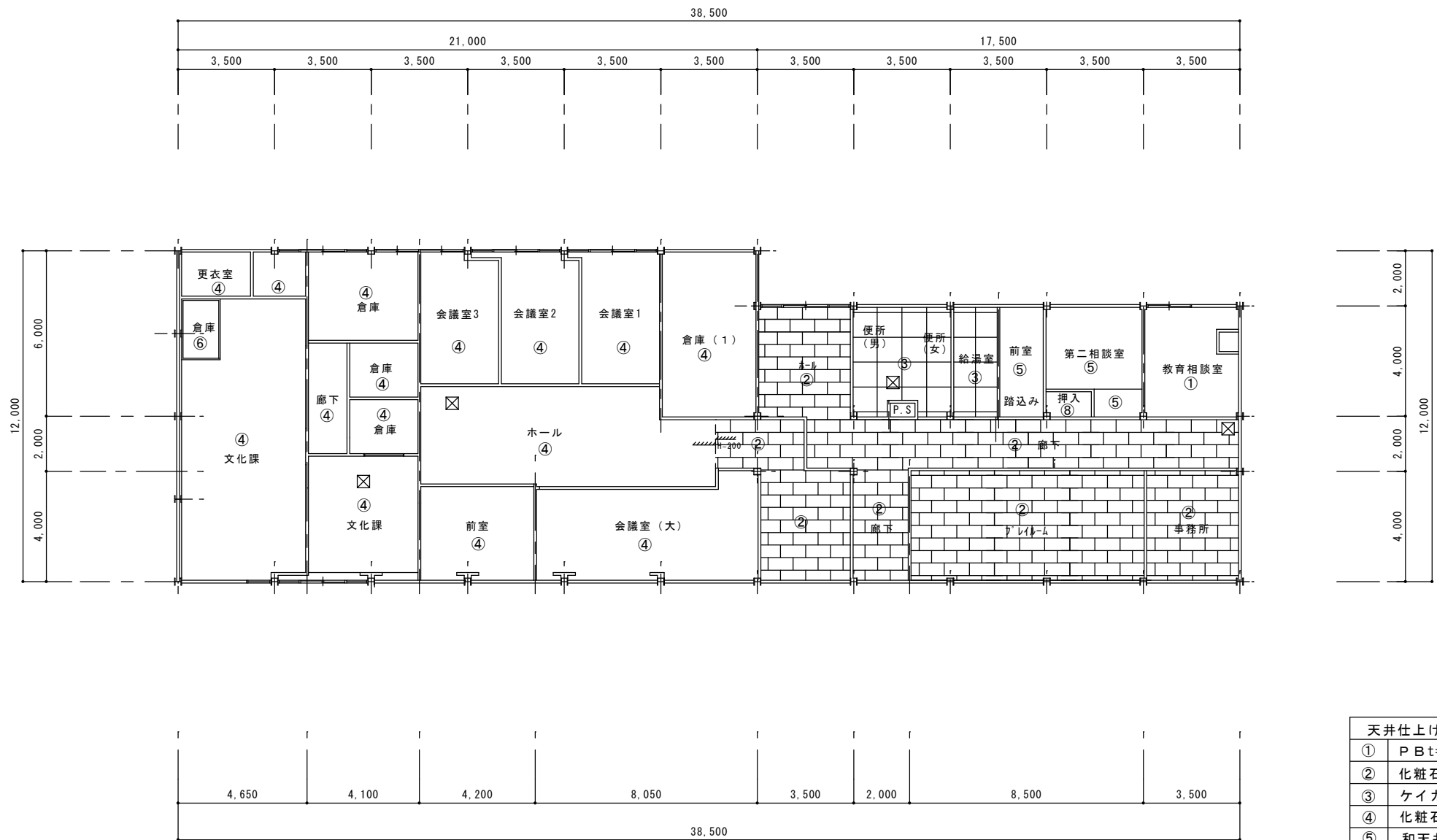
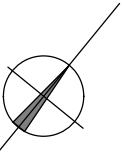
特 記	作 図	作 図	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
			旧急患センター解体工事	A3版 : 1/200	A09
			屋根伏図		

行橋市役所 都市整備部 建築政策課
福岡県行橋市中央一丁目1番1号
TEL : 0930-25-1111



1 階天井伏図

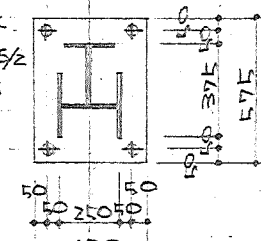
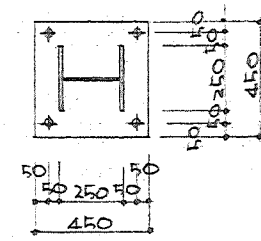
特 記	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111 *****	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号
				旧急患センター解体工事	A3版：1/200	A10
				1 階天井伏図		



2 階天井伏図

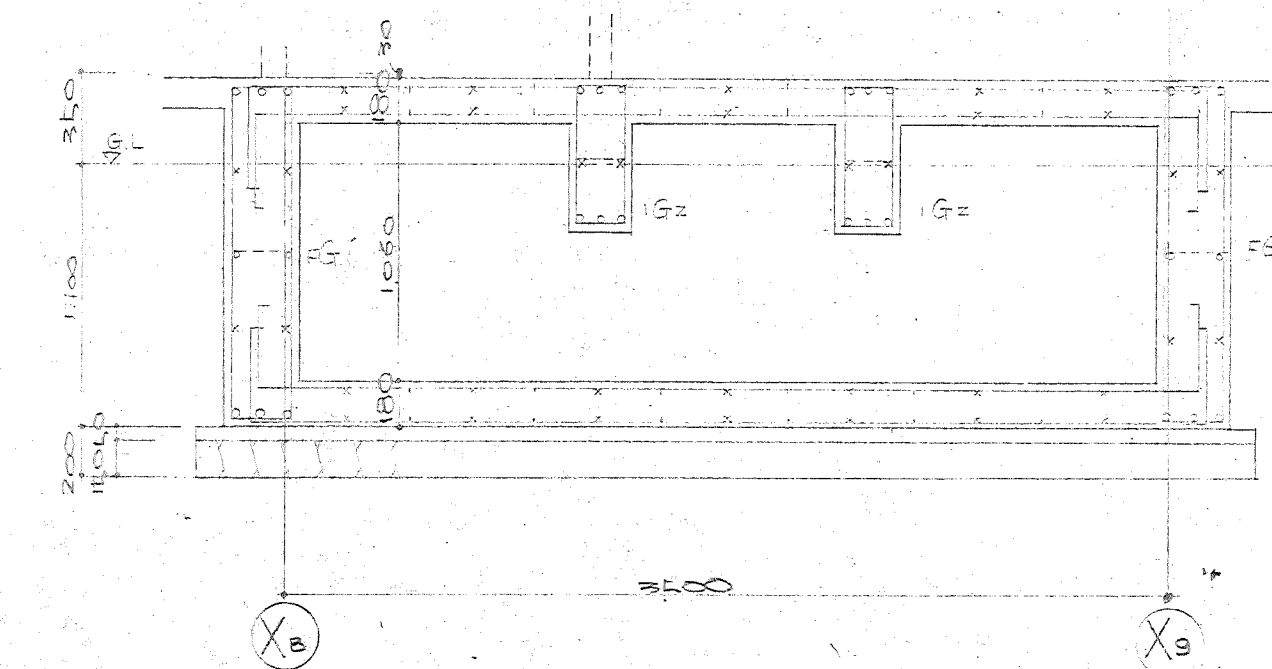
天井仕上表	
①	P B t=9.5+ロックウール吸音板t=9.5
②	化粧石膏ボードt=9.5（アスベスト含有）
③	ケイカル板t=6.0E P 塗装（アスベスト含有）
④	化粧石膏ボードt=9.5
⑤	和天井
⑥	1.5mm P B 鉛合板+ビニールクロス貼り
⑦	アルミスバンドレール
⑧	ベニヤ板

特 記	作 図	作 図	行橋市役所 都市整備部 建築政策課 福岡県行橋市中央一丁目1番1号 TEL：0930-25-1111 *****	工 事 名 称 ・ 図 面 名 称 旧急患センター解体工事 2 階天井伏図	縮 尺 A3版：1/200	図 面 番 号 A 1 1

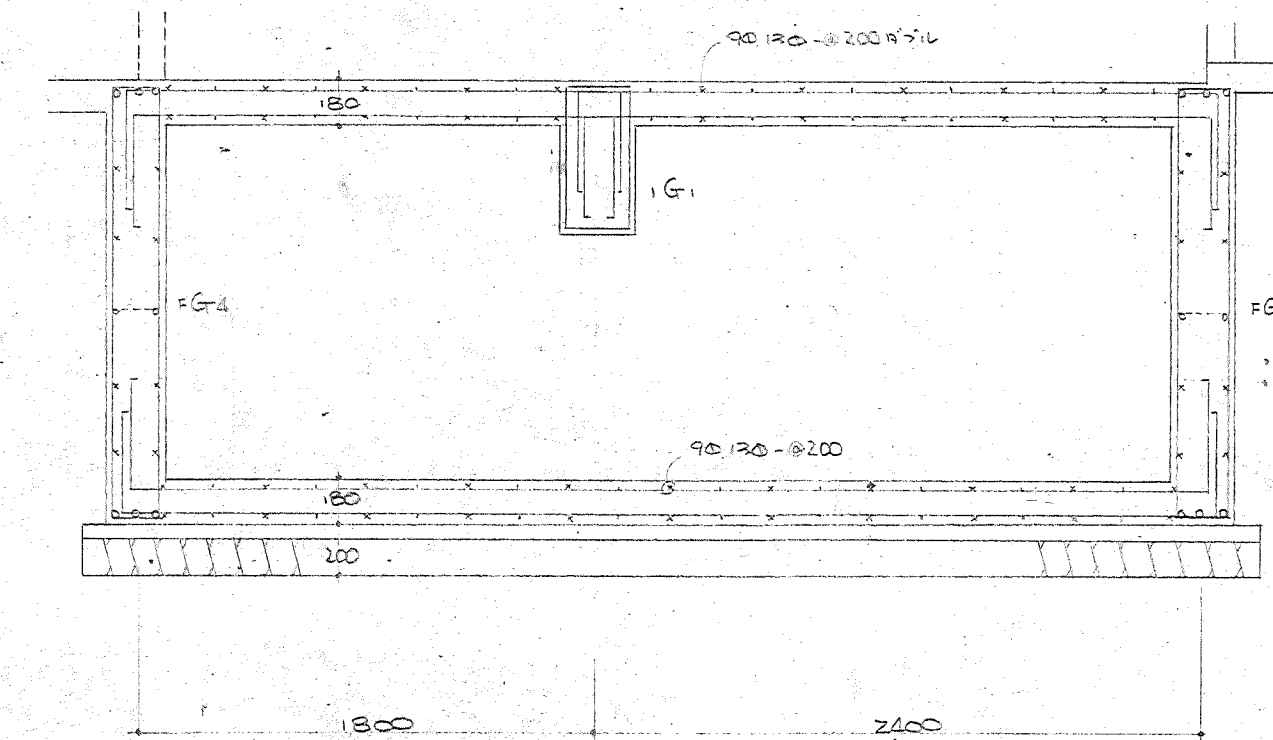
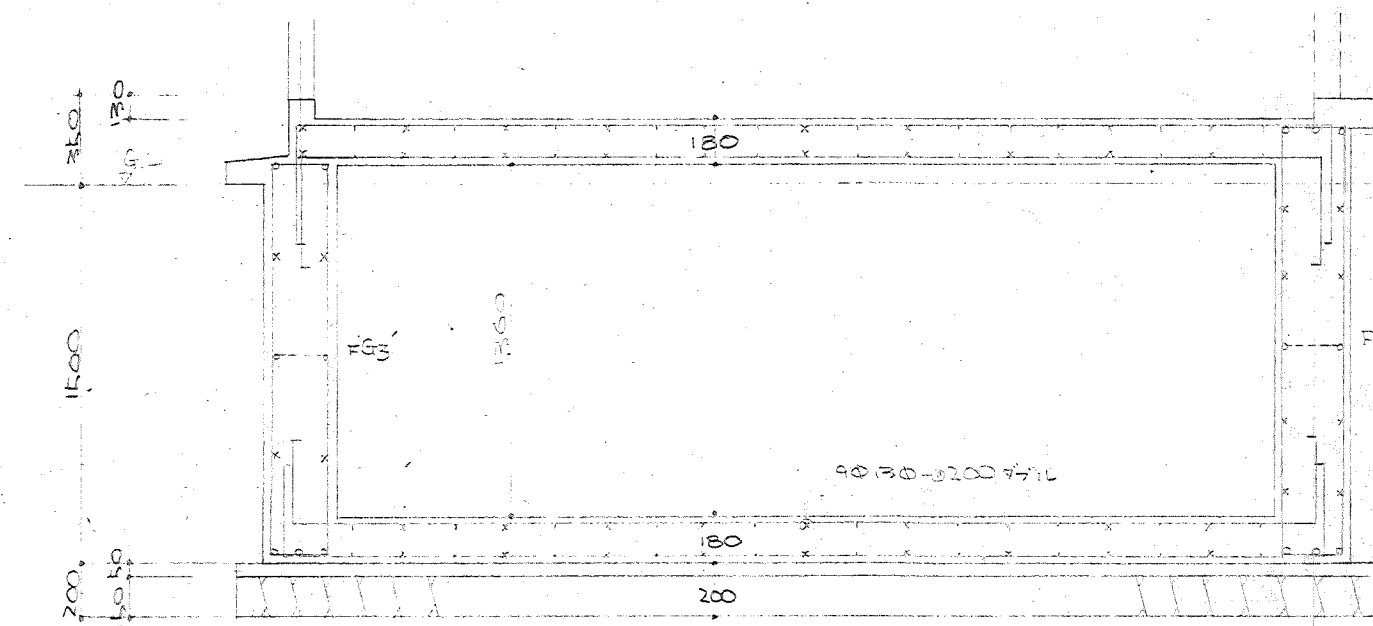


地中梁リスト

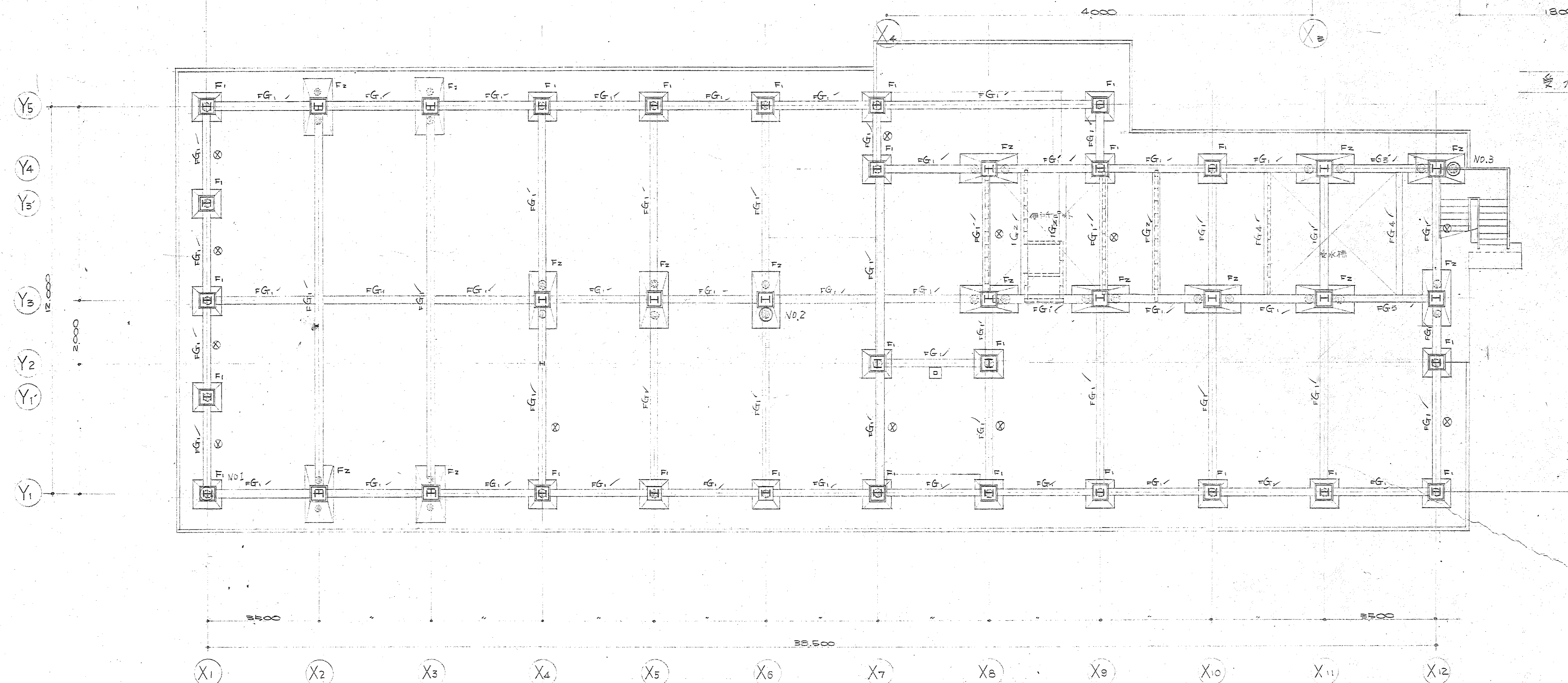
符号	1. FG1	1. FG2	1. FG3	1. FG4
断面	200×620	250×620	300×750	250×1750
上端筋	3-16φ	3-16φ	3-16φ	3-16φ
下端筋	3-16φ	3-16φ	3-16φ	3-16φ
補強筋	2-9φ	2-9φ	2-9φ	2-9φ
297.7°	9φ-Φ250	9φ-Φ250	9φ-Φ250	9φ-Φ250

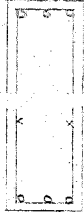
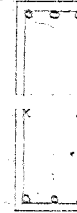


便所ピロ配筋図



受水槽配筋図



符号	FC ₁	FC ₂
断面	 100 × 400	 200 × 1600
上端筋	3-16φ	3-16φ
下端筋	3-16φ	3-16φ
補助筋	2-16φ 4-13φ	2-16φ 4-12φ
ササリ筋	9φ-2250	9φ-2750

8) 確証+無限+下説=216
 確証至 3000 0.00 試驗迄 10,000 N21-N93
 確証力 15%
 確証率 25% (試驗迄率)
 9) 711-704 (6) 43%
 全 704

基礎地中梁伏圖 S: 1/100

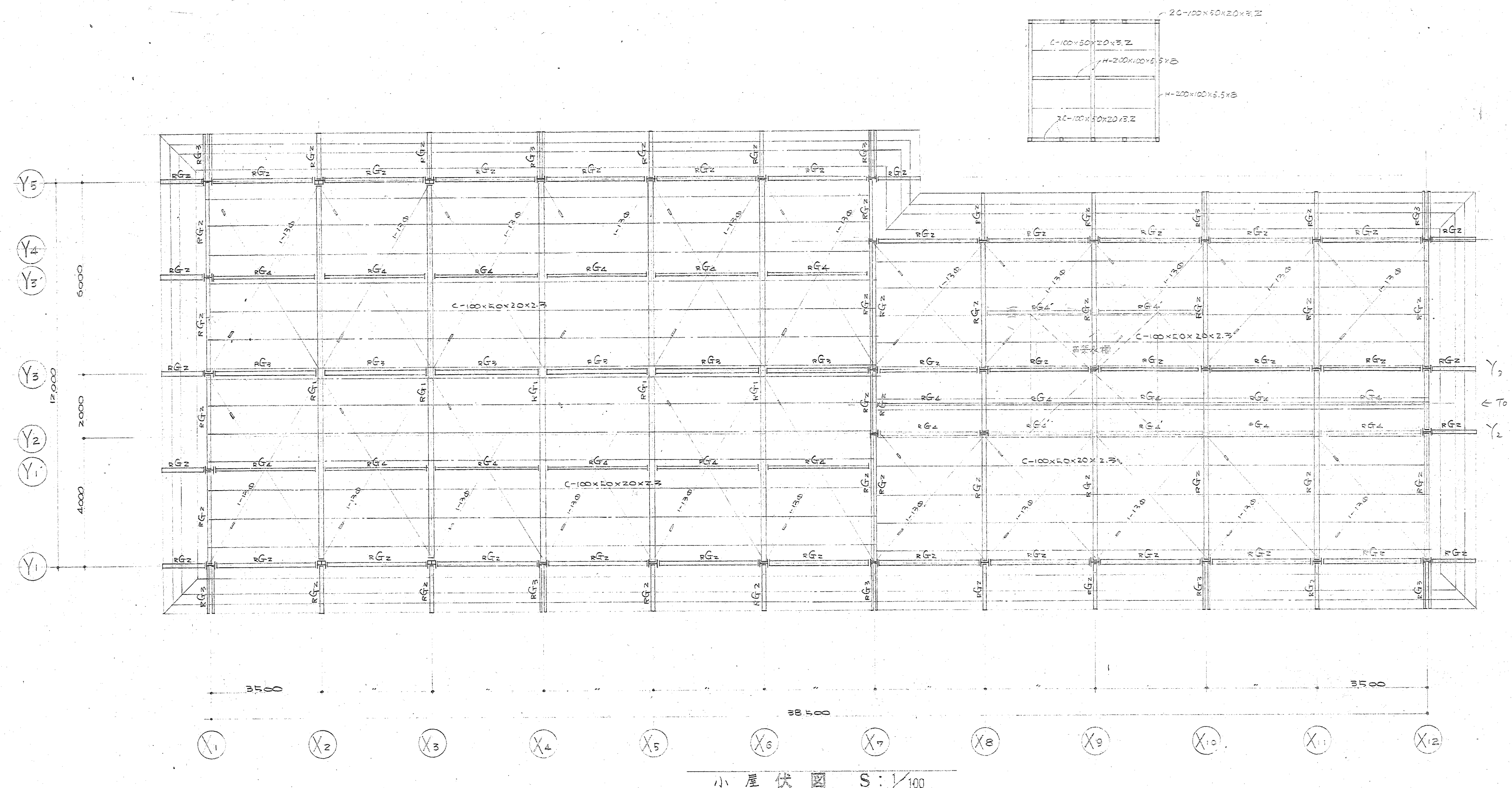
株式会社 林田設計事務所

行橋市総合福祉センター新築工事

地下中梁	スリット	S : 1/30
地下中梁	伏図	S : 1/100

4611
46.6.5

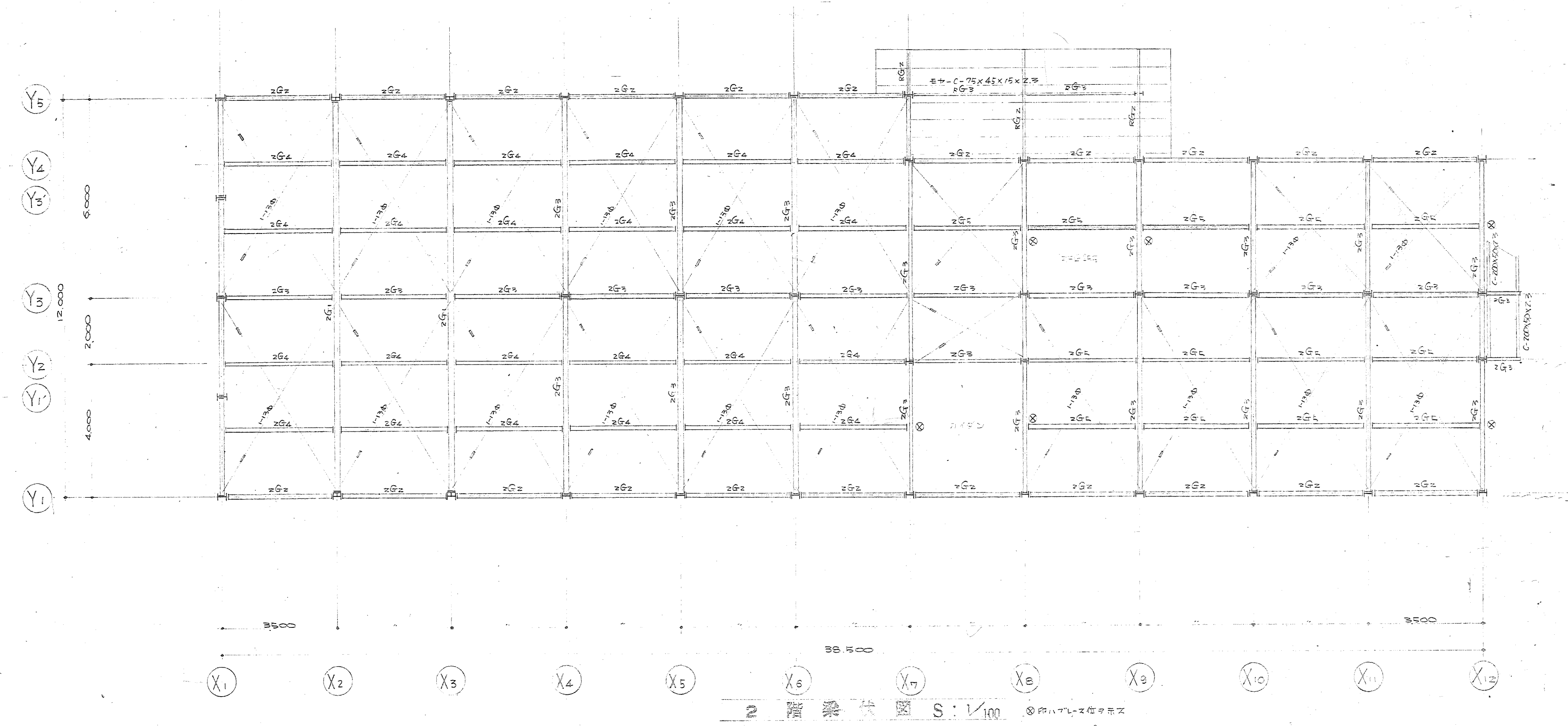
卷一



小屋伏図 S:1/100

部材リスト

符号	形状	寸法
YG1	I	H-246x174x6x9
YG2	I	H-200x100x5.5x8
YG3	I	H-150x75x5x7
YG4	□	ZC-100x50x20x2.2 ZC-100x40x20x2.2
YT	□	C-100x40x20x2.2
2C	I	H-250x250x9x14
2C1	H	H-250x250x9x14 H-500x200x10x16/2

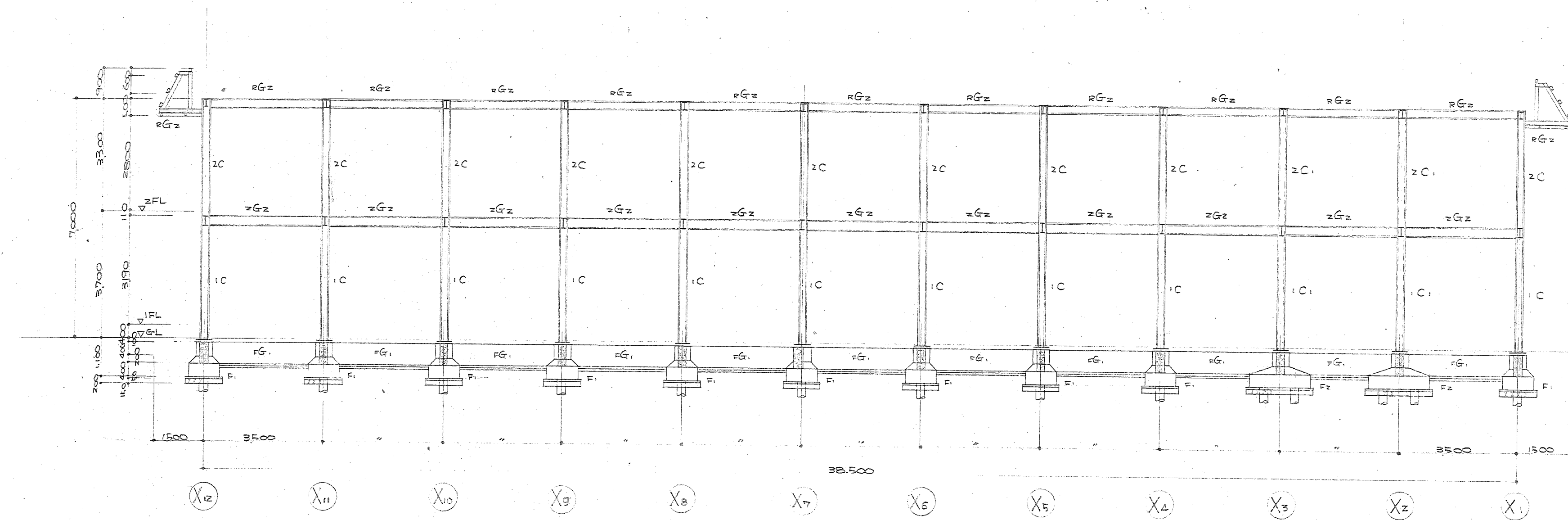


2階梁伏図 S:1/100

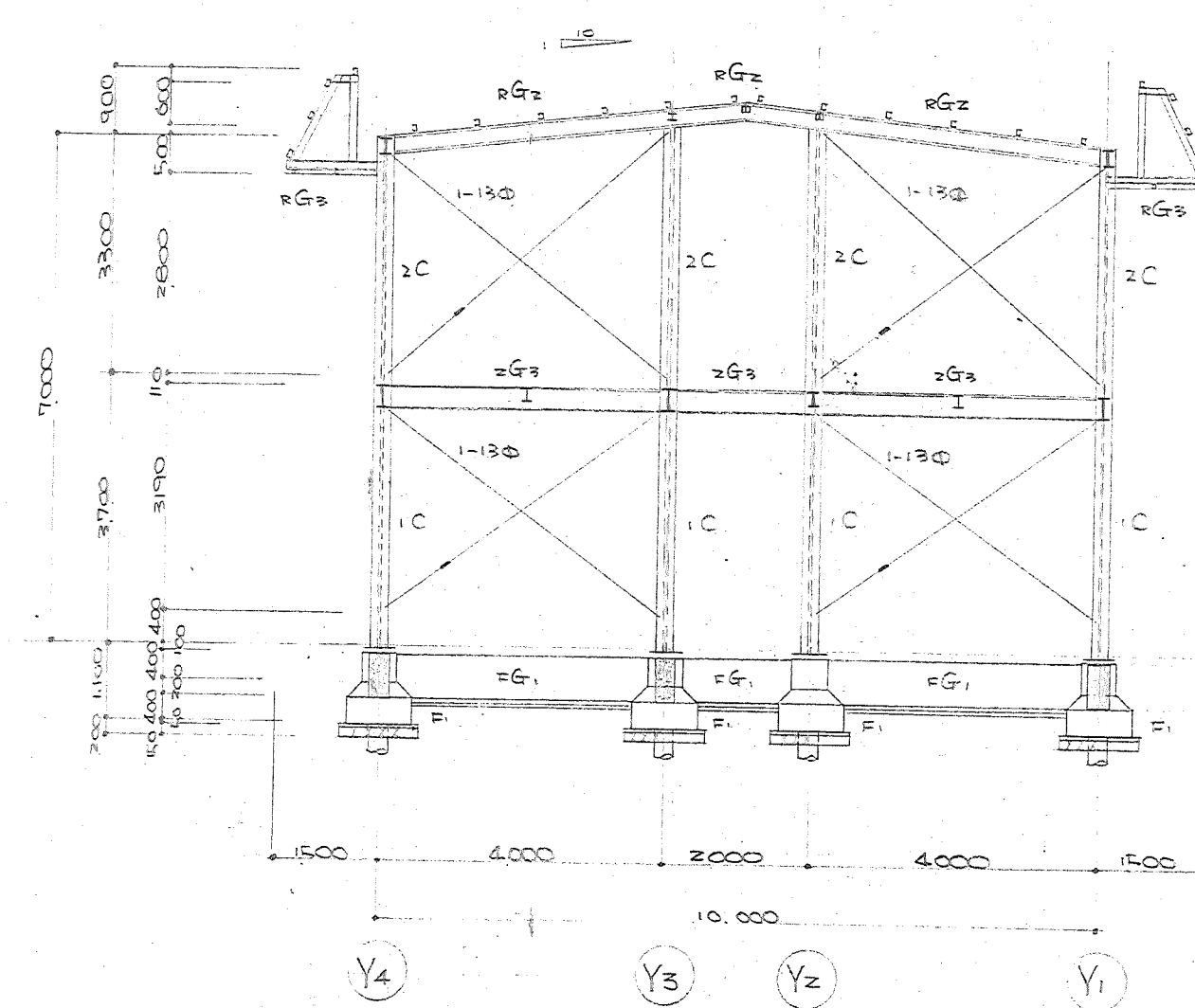
部材リスト

符号	形状	寸法
2G1	I	H-500x200x10x16
2G2	I	H-246x174x6x9
2G3	I	H-200x100x5.5x8
2G4	I	H-200x100x5.5x8
2G5	I	H-175x90x5x8
2C	I	H-250x250x9x14
2C1	H	H-250x250x9x14 H-500x200x10x16/2

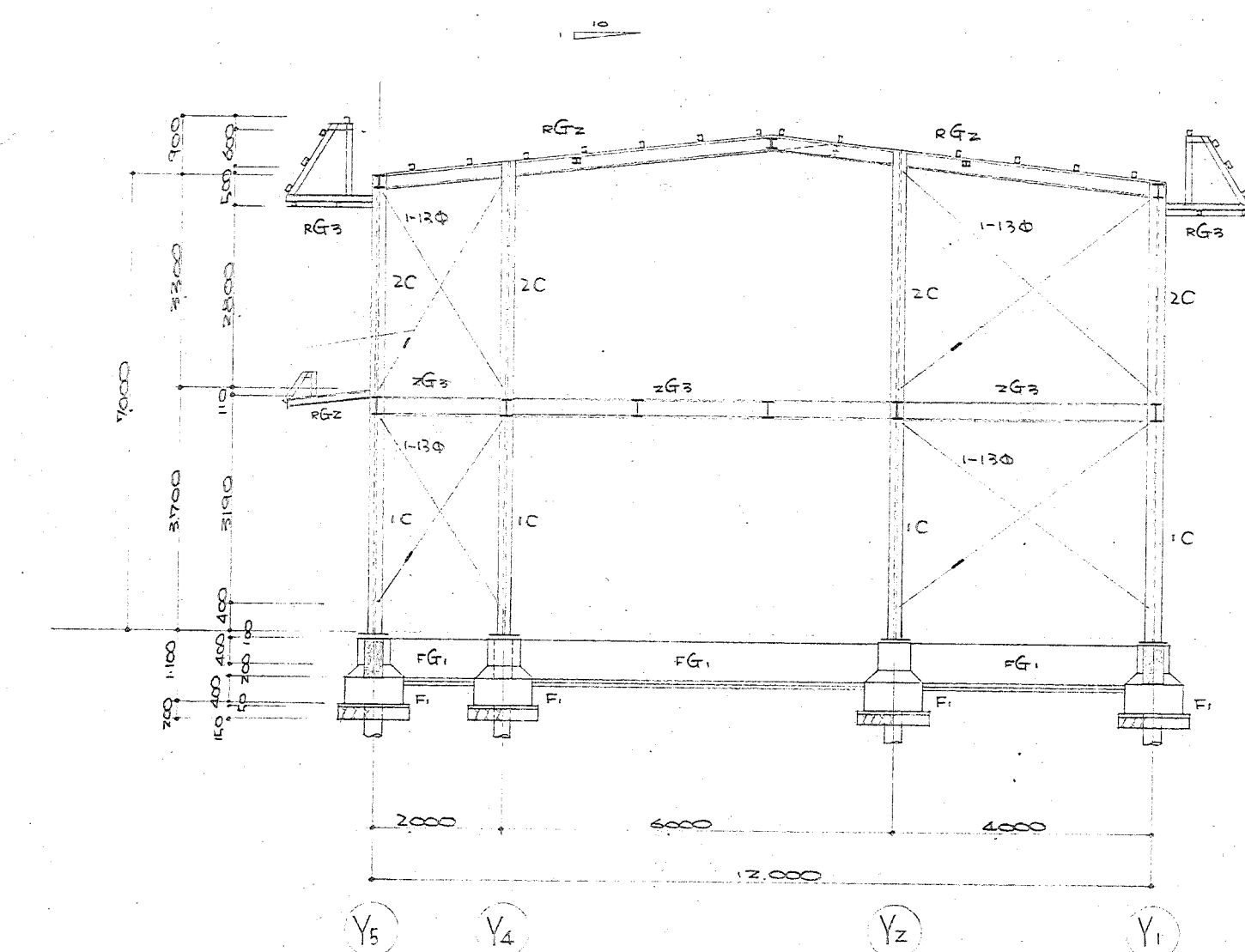
註) 特記ナキ限り下記ニ準ル



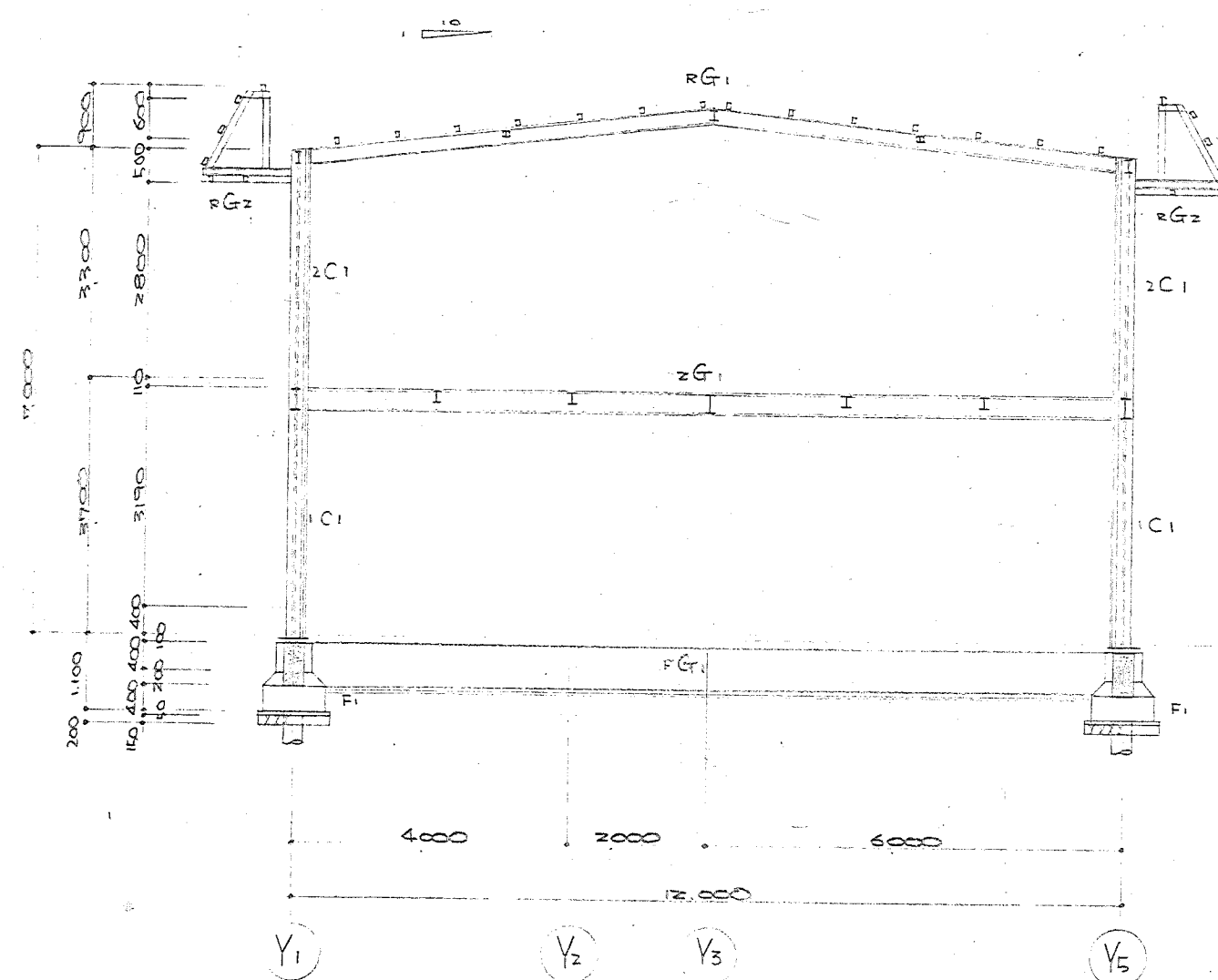
Y1 通軸組図 S: 1/100



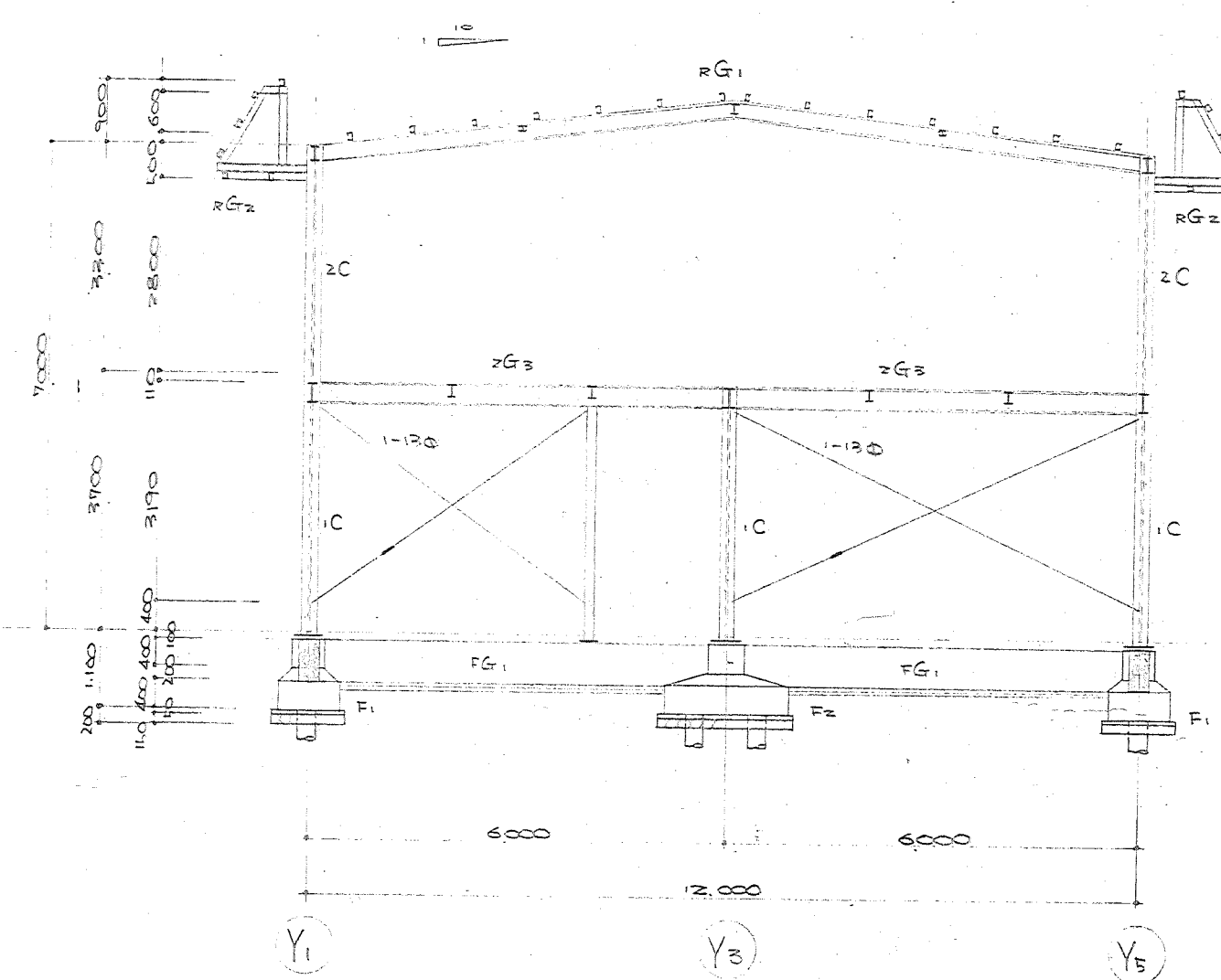
X12 通軸組図 S: 1/100



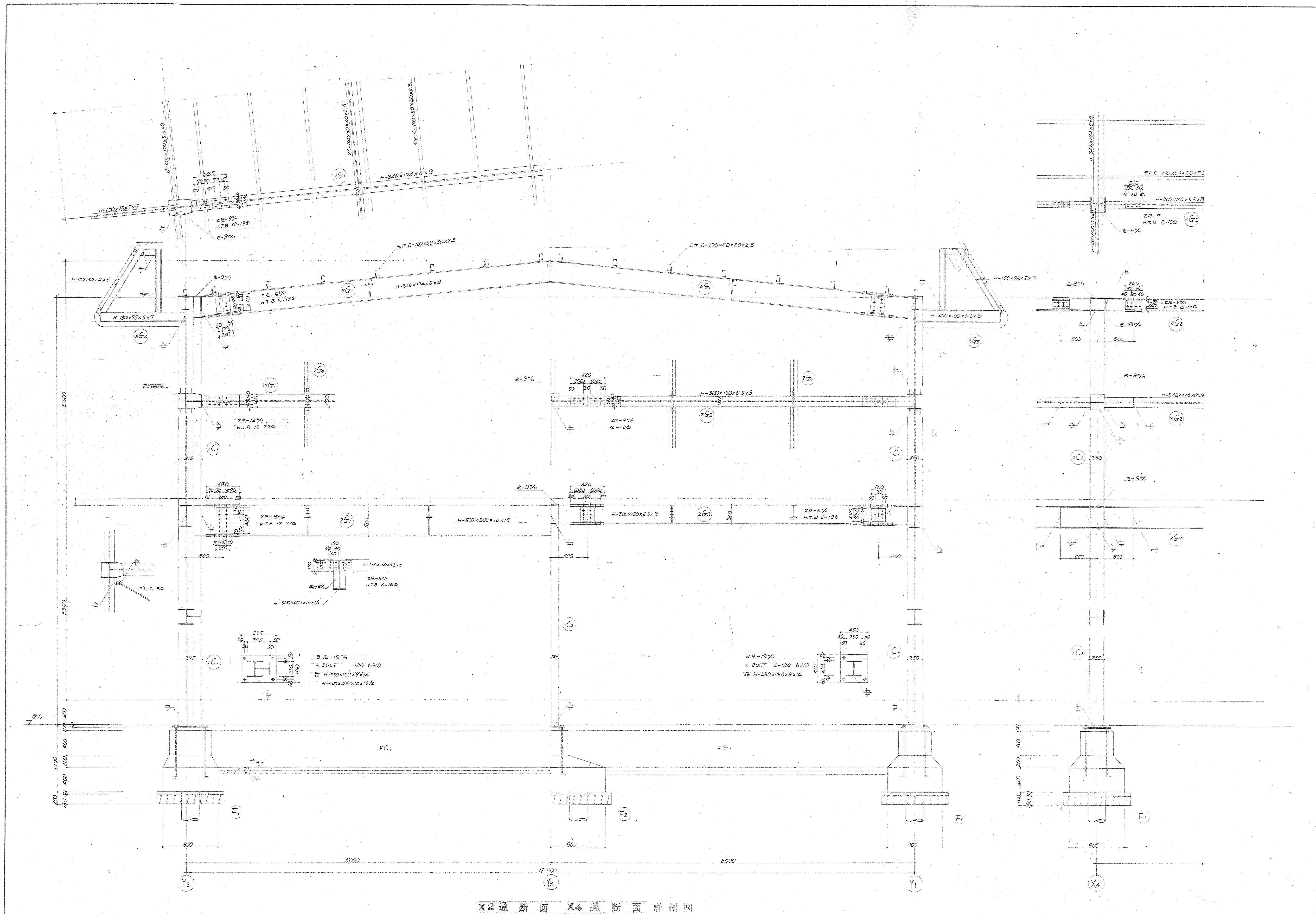
X7 通軸組図 S: 1/100



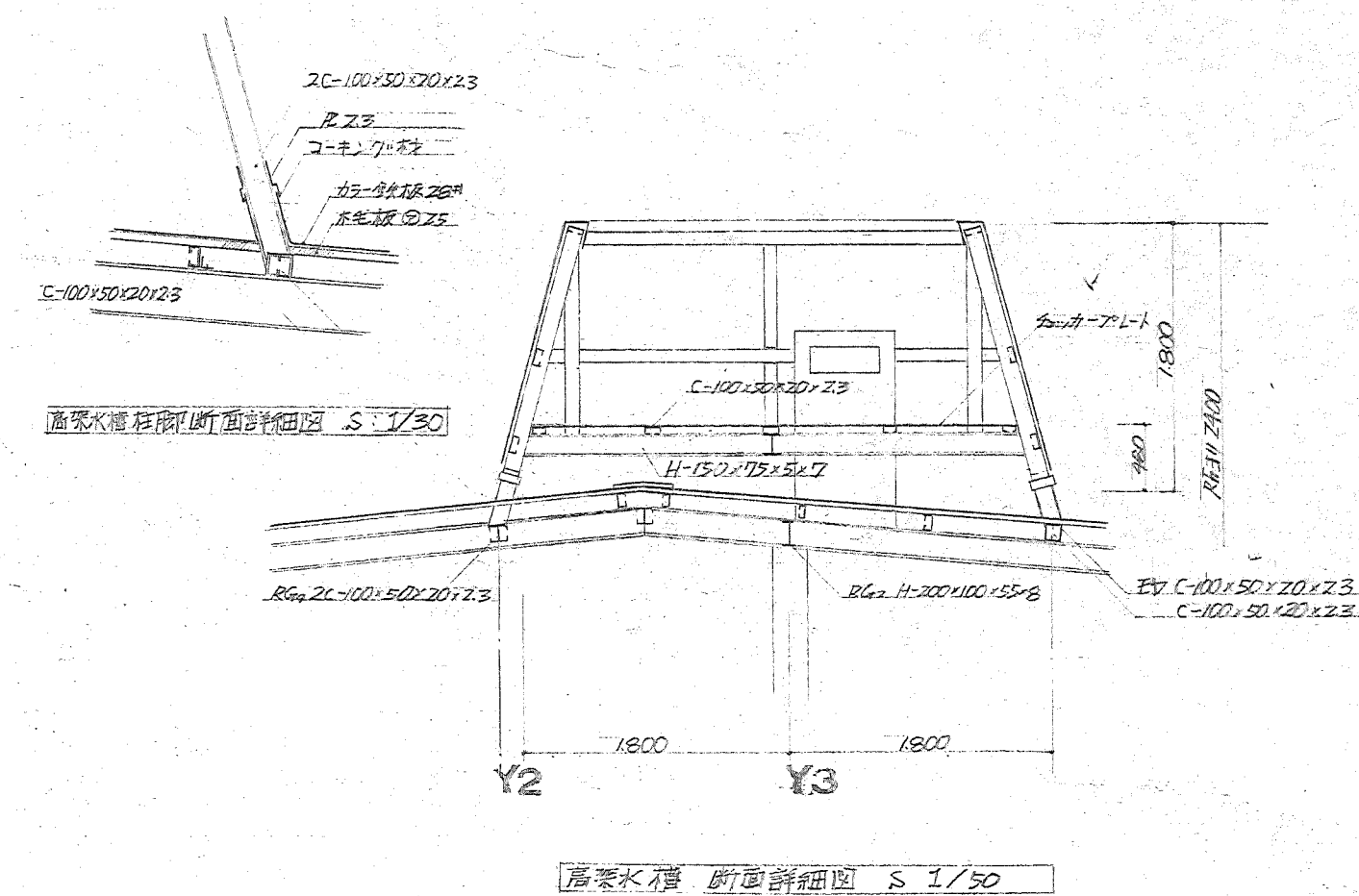
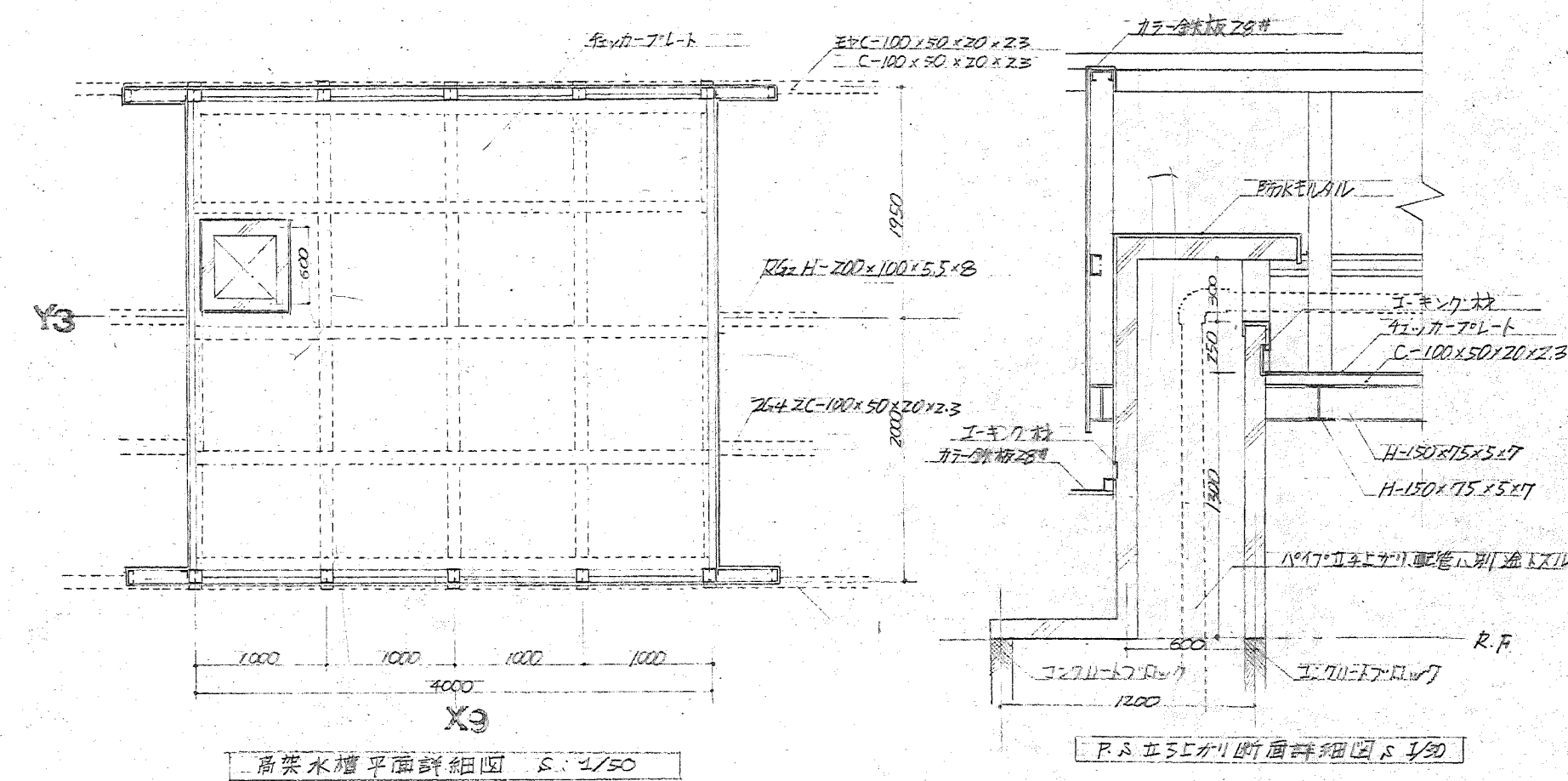
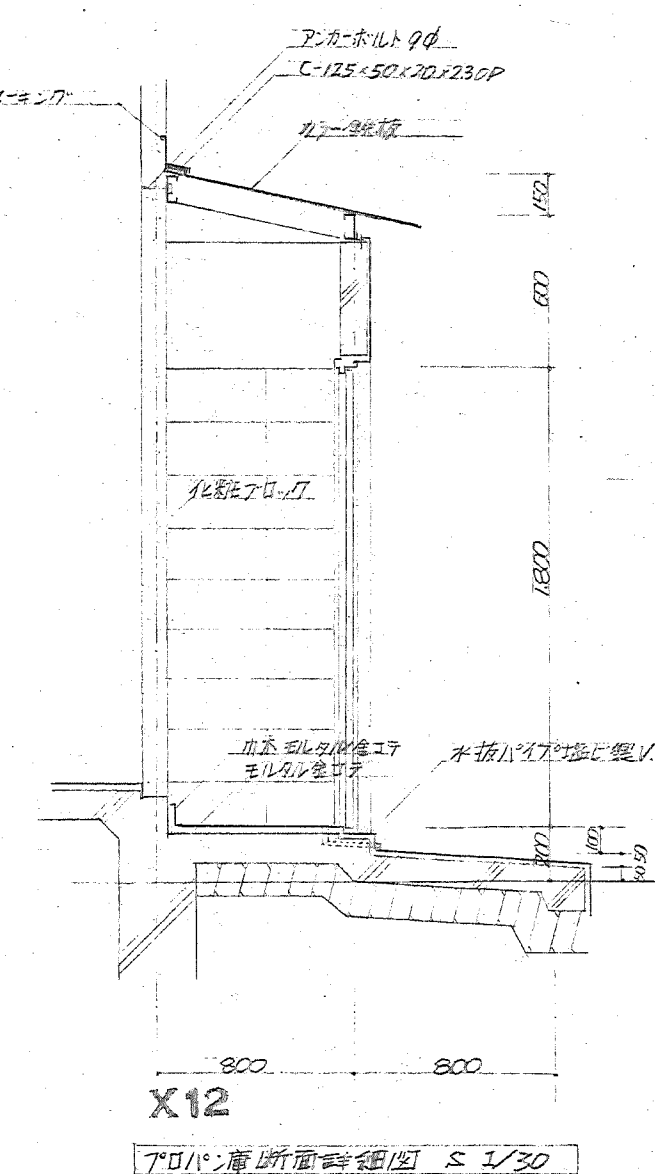
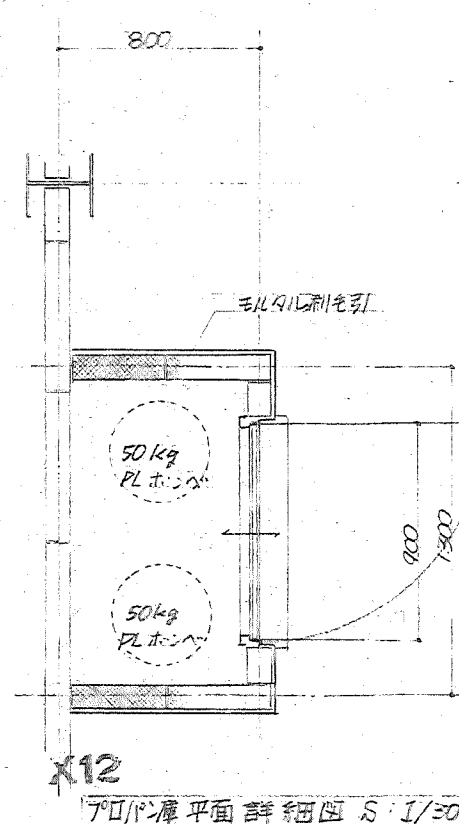
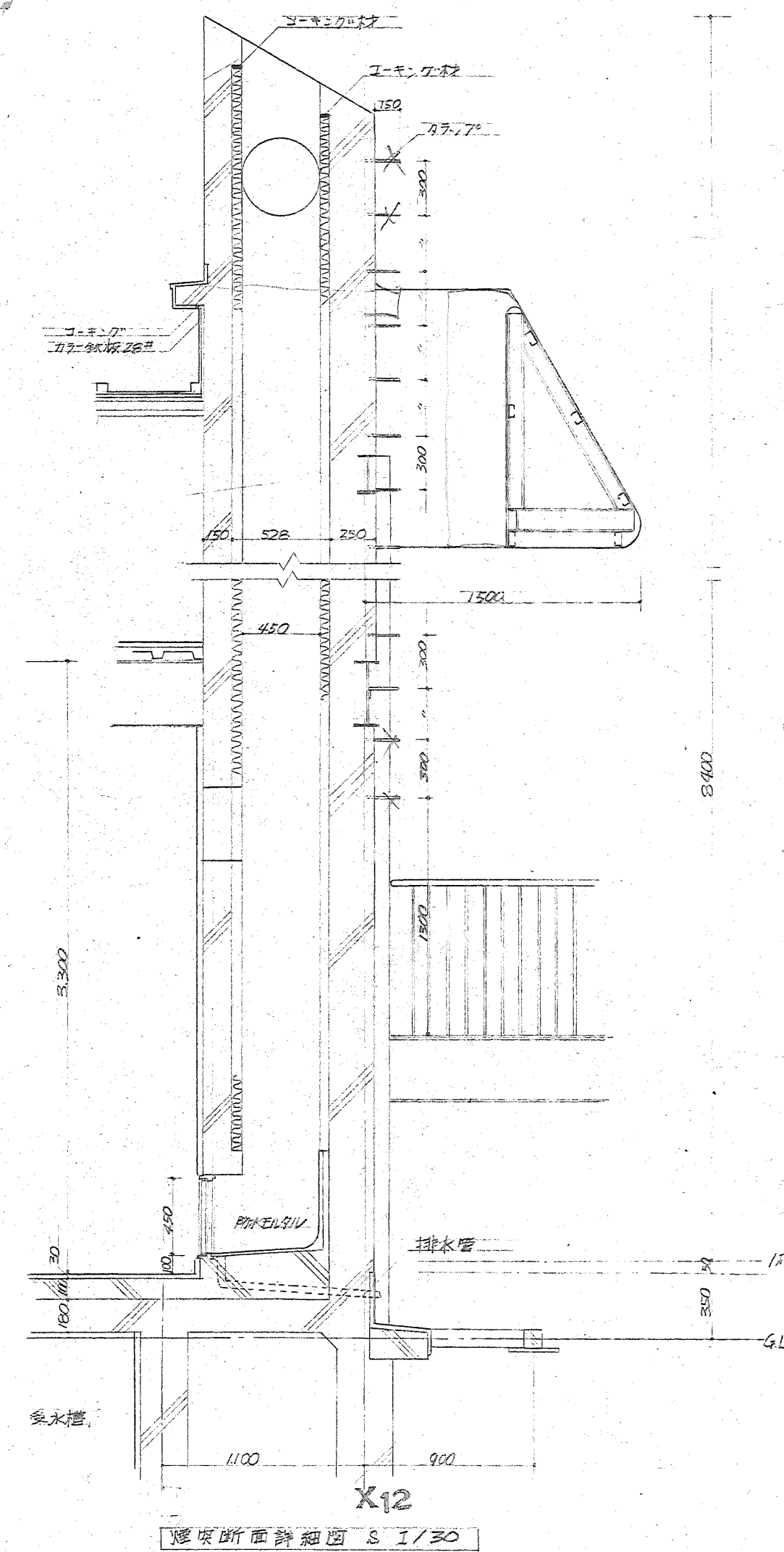
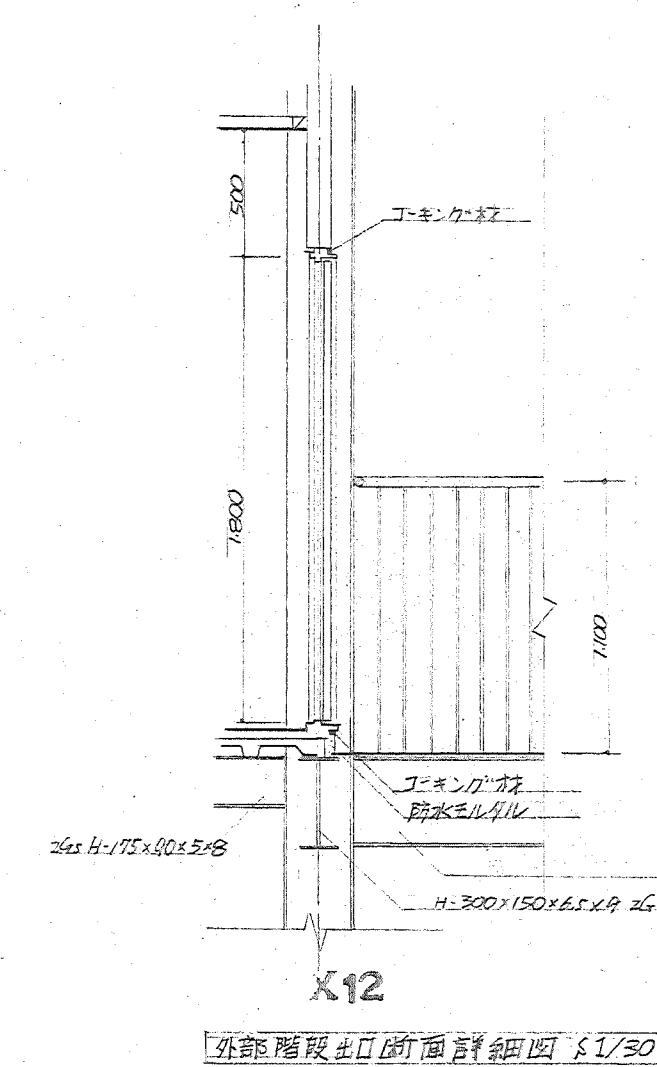
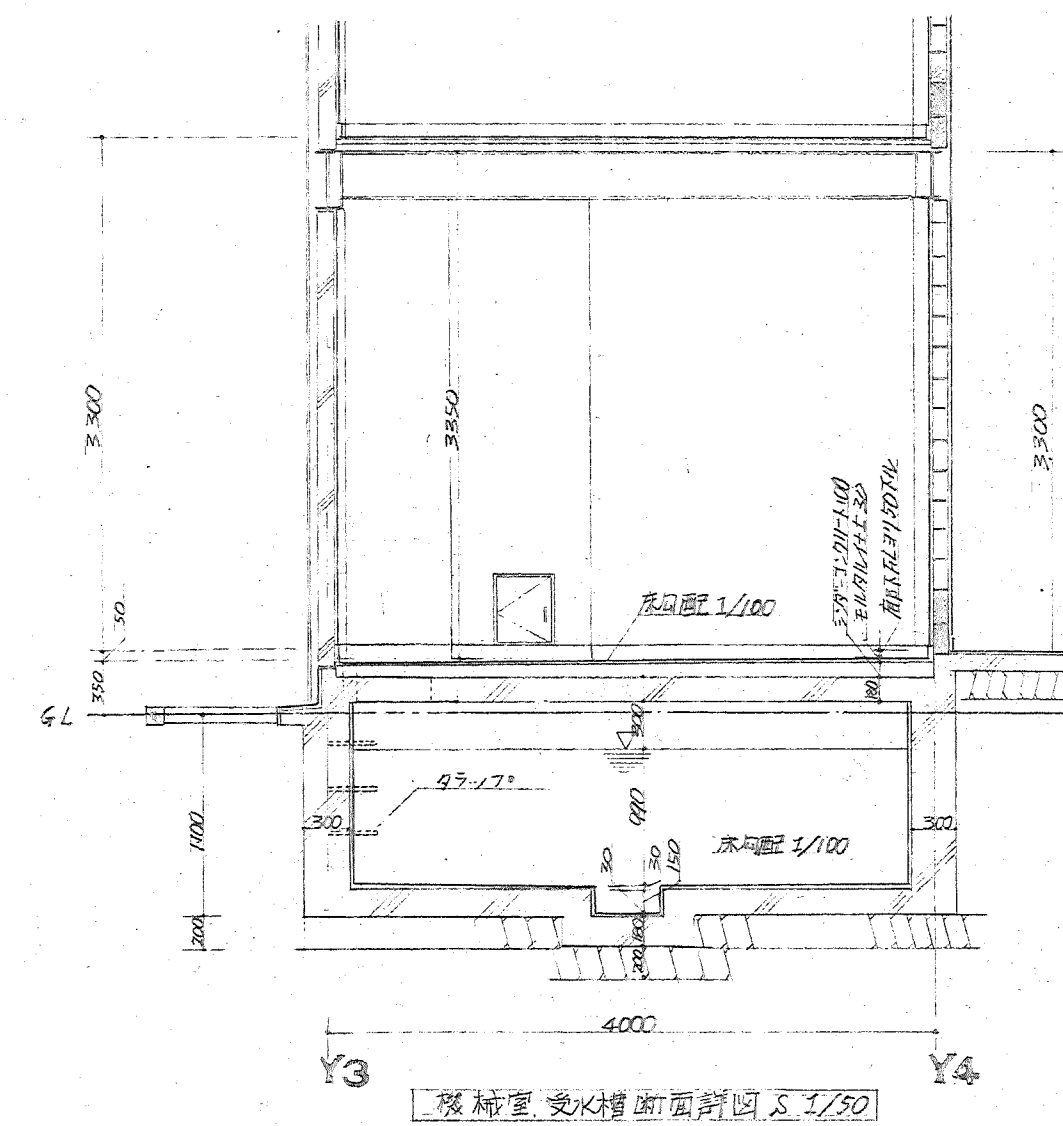
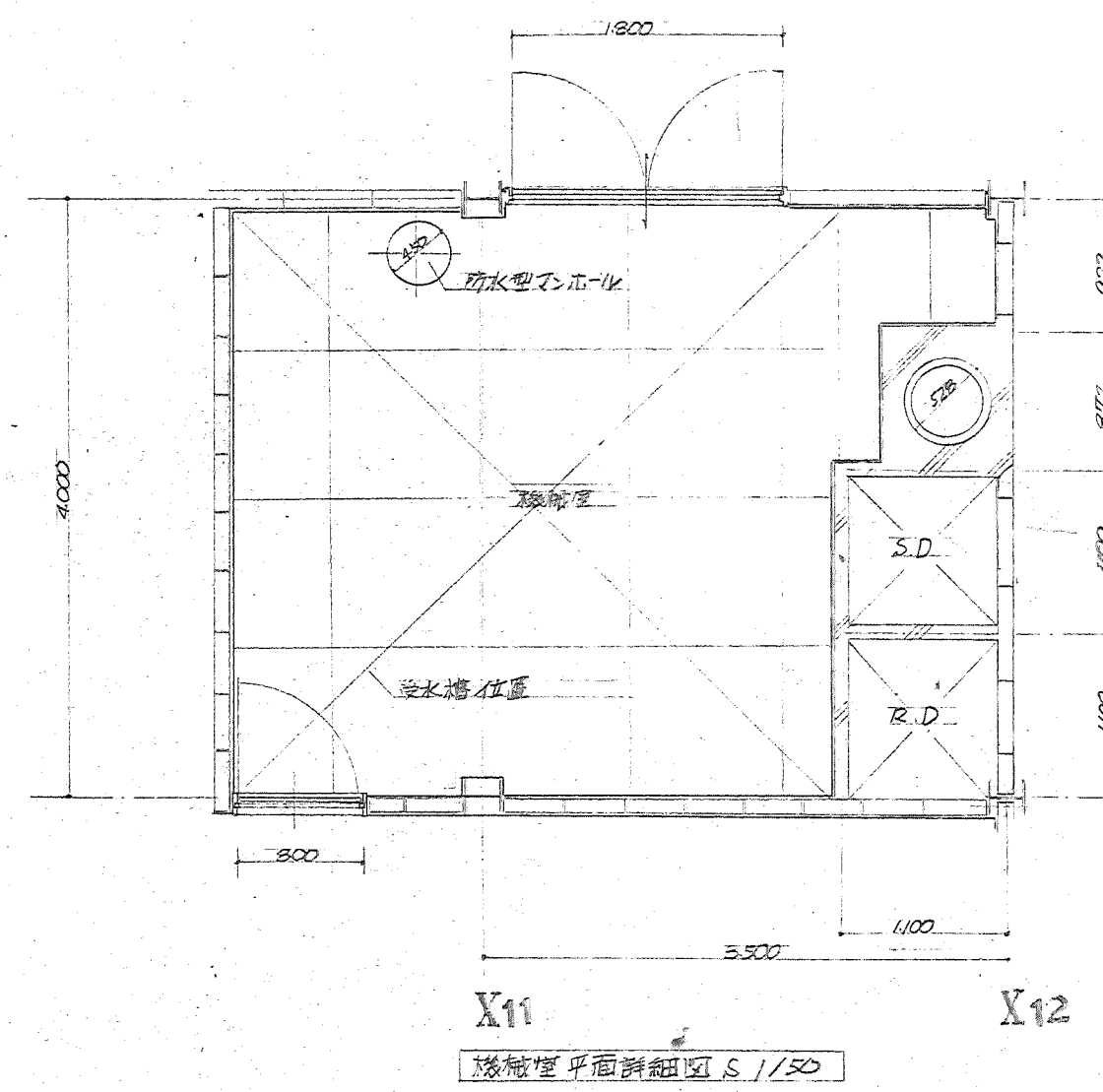
X2 通軸組図 S: 1/100



X4 通軸組図 S: 1/100



X2通断面 X4通断面 詳細図



1 2階ホール 1	2 2階給湯室	3 2階前室	4 2階文化課
			
5 2階ホール 2	6 2階会議室 3	7 2階会議室 3	8 2階文化課
			
9 2階会議室 1	10 2階会議室 (大)	11 2階廊下	12 2階ホール 1
			

13	2階ホール1	14	1階会議室2	15	1階会議室1	16	1階廊下
							
17	1階倉庫	18	1階倉庫	19	1階倉庫	20	1階倉庫
							
21	1階廊下奥	22	1階給湯室2	23	1階給湯室2	24	1階廊下
							

25 1階廊下	26 1階文化課	27 1階文化課	28 1階文化課
			
29	30	31	32
33	34	35	36